

AIライフナビ

取扱説明書

【1】各シート案内

AIライフナビ

各シート案内

画面下のこの部分それぞれを「シート」とよびます。



- ・シートを切り替えたい場合は、この部分をクリックするか目次シートから切り替えることができます。
- ・🔥 シートは有料版のみ使用できます。
- ・各シートは【目次】シートにて表示・非表示の選択ができるため、使わないシートは非表示にすることが出来ます。

【使用にあたっての注意事項】



初めて利用される方は「利用規約」と「初めてご利用の方向け動画」を必ずご確認ください。

【ヘルプページ】



【目次】シート



【情報】シートの各項目や、各シートへの目次兼ショートカットとなっているシートです。また、提案内容や相談内容等のメモ欄もあります。

下部にライフプランを検討中のお客様に提案用の資料が準備されています。PDFのスライドタイプと、動画での案内動画がある為、状況にあったものを活用しお客様へCF表を作成することのメリットをご案内ください。

【情報】シート

情報入力シート

↑入力(年単) ↑入力(年単)

基本情報			
ご本人様	ご年齢	31歳	住まい月
ご家族様	ご人数(ご親)	8名	はらわ
ご家族様	ご人数(ご親)	8名	はらわ
	ご収入(ご収入)	100万円/月	ご収入(ご収入)

生活費	
生活費合計	235,000円/月
食費(外食分)	130,000円/月
娯楽費(娯楽、DL、映画)	25,000円/月
交通費(車検、燃料、保険、ネット、Navi)	10,000円/月
小遣い(年別)	40,000円/月
雑費	10,000円/月
医療費	10,000円/月
その他	10,000円/月

世帯収入	
ご本人様	1,400万円
ご家族様	450,000円
ボーナス(年別)	800,000円
退職金支給予定	66万円
相続金	2,200万円
ご本人様(ご収入)	34歳
ご収入(ご収入)	55歳

CF表を作成するための情報を、お客様からヒアリングして入力していくシートです。

👑 有料版【AI】シート

AIに聞いてみる

フリー質問AIはこちら

カテゴリを選択
自動車

質問を選択
車種もしくは車両重量が【①】の一般的な自動...

【①】を選んでください
500kg〜1000kg以下

質問を確認してAIに聞いてみるボタンを押してください
車種もしくは車両重量が500kg〜1000kg以下（日産：マーチ、トヨタ：ヤリス）の一般的な自動車の車種代はいくらか

AIに聞いてみる 入力内容をリセットする

AIからの回答 ※URLのサイトを表示したい場合は、URLをダブルクリックして選択しブラウザにコピーしてください。
一般的な自動車の車種代は、法定費用と車種基本費用、車検交換費用の合計からなります。法定費用は、自動車重量税が16400円、自動車保険料(24ヶ月)が17650円、印紙代が2100円、合計は36150円です。
次に、車種による車種基本費用が加わります。ディーラーの場合は35000〜100000円、車種専門店の場合は20000〜65000円、カー用品店の場合は15000〜70000円です。
したがって、車種代は以下のようになります：
- ディーラーの場合：36150円 + 35000〜100000円
- 車種専門店の場合：36150円 + 20000〜65000円
- カー用品店の場合：36150円 + 15000〜70000円
このため、車種代は車種や車検交換の有無によって大きく変動します。

定形質問やフリーワードでの質問について、AIが回答してくれる有料版で利用することが出来るシートです。

【CF】シート

作成日		2025/3/10											
		物件金額		6000万円		ローン金額		6000万円		金利			
		借費用		400万円		借金		400万円					
西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	
総額	ご本人様	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
	ご家族様	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
	ご子様	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	ご孫様	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	ライフイベント												
収入	ご本人様収入合計	554	563	573	582	592	601	610	620	629	639	648	657
	ご家族様収入合計	290	195	207	298	300	303	305	308	310	313	315	318
	ご本人様年金合計												
	ご家族様年金合計												
	住宅ローン控除			28	27	27	27	26	26	26	25	25	25
	一時収入												
	定期収入	36	36										
	預金収入合計												
	児童手当	12	30	30	30	24	24	24	24	24	24	24	24
投資収益(含み損)													
その他収入													
収入合計	892	824	837	937	943	954	966	978	989	1,001	1,013	1,024	
支出	生活費	246	251	256	261	266	272	277	283	288	294	300	306
	住宅ローン費用合計	144	144	685	265	266	266	266	287	267	268	268	269
	イベント	60	60	140	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	教育費合計	13	13	45	51	69	59	67	76	71	212	155	
	借入金返済	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
	保険合計	457	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57
	維持費合計				420	50	70	50	70	50	70	50	70
	死後の埋葬費												
	その他支出												
支出合計	944	549	1,206	1,138	792	784	770	823	798	819	947	916	
年間収支	-52	275	-369	-201	151	171	196	154	191	182	65	108	

【情報】シートに入力した内容によって出来上がってくる、CF表を確認できるシートです。

【収支】シート

収支チェック表								
	入札元		出札先					
	毎月	毎年	毎月	毎年				
収入	売上	450,000円	5,400,000円	450,000円	5,400,000円			
	仕入	250,000円	3,000,000円	250,000円	3,000,000円			
	手数料	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	合計	130,000円	1,380,000円	130,000円	1,380,000円			
支出	経費	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(車)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(燃料)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(保険)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(税金)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(雑費)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(広告)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(印刷)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(通信)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(旅行)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(娯楽)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(雑費)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(その他)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(合計)	283,333円	3,400,000円	283,333円	3,400,000円			
	合計	29,000円	348,000円	29,000円	348,000円			
	貯蓄	銀行	0円	0円	0円	0円		
証券		0円	0円	0円	0円			
保険		0円	0円	0円	0円			
年金		0円	0円	0円	0円			
投資		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
<集計合計>		毎月収入合計	710,000円	8,520,000円	毎月収入合計	710,000円	8,520,000円	
毎月支出合計	29,000円	348,000円	毎月支出合計	29,000円	348,000円	毎月支出合計	29,000円	348,000円
収入-支出-差額	681,000円	8,172,000円	収入-支出-差額	681,000円	8,172,000円	収入-支出-差額	681,000円	8,172,000円

ヒアリングした内容と現状のお客様の状況に乖離がないか確認するためのシートです。ここで乖離が出た場合には、情報を再確認したうえで変更する必要があります。

【住宅購入後収支】シート

住宅購入後収支チェック表								
	入札元		出札先					
	毎月	毎年	毎月	毎年				
収入	売上	450,000円	5,400,000円	450,000円	5,400,000円			
	仕入	250,000円	3,000,000円	250,000円	3,000,000円			
	手数料	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	合計	130,000円	1,380,000円	130,000円	1,380,000円			
支出	経費	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(車)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(燃料)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(保険)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(税金)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(雑費)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(広告)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(印刷)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(通信)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(旅行)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(娯楽)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(雑費)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(その他)	10,000円	120,000円	10,000円	120,000円			
	経費(合計)	283,333円	3,400,000円	283,333円	3,400,000円			
	合計	29,000円	348,000円	29,000円	348,000円			
	貯蓄	銀行	0円	0円	0円	0円		
証券		0円	0円	0円	0円			
保険		0円	0円	0円	0円			
年金		0円	0円	0円	0円			
投資		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
貯蓄		0円	0円	0円	0円			
<集計合計>		毎月収入合計	710,000円	8,520,000円	毎月収入合計	710,000円	8,520,000円	
毎月支出合計	810,833円	9,730,061円	毎月支出合計	810,833円	9,730,061円	毎月支出合計	810,833円	9,730,061円
収入-支出-差額	-100,833円	-1,210,061円	収入-支出-差額	-100,833円	-1,210,061円	収入-支出-差額	-100,833円	-1,210,061円

住宅購入後には、1年間の収支がどのようになるのか確認するためのシートです。

有料版【アドバイス】シート

AIアドバイス

1 家計チェック
2 住宅購入チェック
3-1 必要保険チェック
3-2 保険チェック
4 学費計画
5 老後計画

AIの回答をリセットする

1 家計チェック

家計チェックをAIに聞く

AIの結果

月収(持ち家): 月収130000円、借付額99400円、家賃30600円、特約費を減らし、自費を減らすことで節約しましょう。固定費を事前に削減し、買い物リストを作成することで無駄な支出を減らせます。

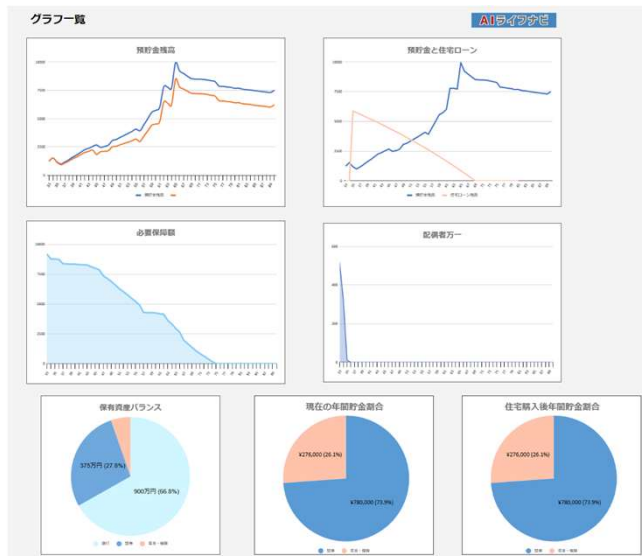
年費保険: 現状283333円、借付額49700円、家賃233633円、保険内費の削減を行い、無駄な保険を減らさず、より経済的なプランへの変更を検討しましょう。保険料削減に相談することをお勧めします。

その他: 現状110000円、借付額71000円、家賃39000円、家賃やマンション代の内訳を詳細に、減らす必要があるか確認し、不要な支出がないか見直しすることで節約できます。

月収と月の支出の差額: 現状-183333円、借付額82000円、家賃-103533円、大幅な赤字となっており、改善できていません。上記項目の削減を実施し、収入を増やすことで改善しましょう。削減や節約アプリの活用をお勧めします。

各項目について、AIのアドバイス結果を表示するシートです。有料版で利用することが出来ます。

【グラフ】シート



預貯金残高やローン残高、必要保証額などをグラフで表したシートです。条件を変更した場合、結果がどう変わるかの対比も見せることが可能です。

【万が一】シート

作成日	2025/3/6	物件金額	13000万円	ローン利率	13000万円	金利	2.00%							
AIライフシミュレーション														
経理年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
年齢	ご主人様	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
	配偶者様	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	第1子様	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	第2子様	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
収入	ご主人様収入合計													
	配偶者様収入合計													
	ご主人様年金合計													
	配偶者様年金合計													
	住宅ローン控除												21	20
	一時収入													
	退職収入													
	児童手当	12	30	30	30	24	24	24	24	24	24	24	24	24
その他収入														
収入合計	555	455	561	565	555	602	606	610	614	615	607	610	614	
支出	生活費	197	197	197	197	203	205	209	214	218	222	227	231	236
	住宅ローン返済合計	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	270	263	264
	イベント	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	教育費合計	12	12	34	83	72	75	75	85	272	352	317	332	318
	借入金返済													
	保険合計	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240
	非課税費合計	72	272	108	112	84	312	84	112	84	112	84	312	84
	税金の増減改善	100												
支出合計	841	841	738	704	667	902	678	721	883	1,006	1,008	1,248	1,012	
年間収支	-286	-386	-238	-140	-69	-290	-72	-110	-269	-391	-401	-638	-398	
残高	1,000万円	694	308	64	-186	-334	-554	-640	-736	-1,005	-1,396	-1,794	-2,432	
総収入	28,015	27,480	27,042	26,481	25,916	25,318	24,716	24,109	23,498	22,885	22,267	21,640	21,050	
総支出	40,529	39,597	38,756	37,939	37,252	36,580	35,884	35,006	34,260	33,403	32,539	31,389	30,143	
必要保証額	-11,514	-12,117	-12,714	-13,312	-13,912	-14,514	-15,118	-15,726	-16,338	-16,954	-17,574	-18,198	-18,826	
別家購入時住宅ローン返済額											2,940	2,878	2,817	

本人に万が一があった際の必要保証額を確認するためのシートです。

【配偶者万が一】シート

作成日	2025/3/6	物件金額	13000万円	ローン利率	13000万円	金利	2.00%							
AIライフシミュレーション														
経理年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
年齢	ご主人様	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
	配偶者様	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	第1子様	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	第2子様	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
収入	ご主人様収入合計	620	650	680	710	640	631	614	598	581	564	547	530	514
	配偶者様収入合計													
	ご主人様年金合計													
	配偶者様年金合計													
	住宅ローン控除	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140
	一時収入													
	退職収入													
	児童手当	12	30	30	30	24	24	24	24	24	24	24	24	24
その他収入														
収入合計	772	820	850	890	845	832	815	793	781	764	752	736	720	
支出	生活費	197	197	197	197	203	205	209	214	218	222	227	231	236
	住宅ローン返済合計	276	276	276	276	276	276	276	276	276	276	380	382	383
	イベント	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	教育費合計	12	12	34	83	72	75	75	85	272	352	317	332	318
	借入金返済													
	保険合計	230	230	230	230	230	230	230	230	230	230	230	230	230
	非課税費合計	72	272	108	112	84	312	84	112	84	112	84	312	84
	税金の増減改善	100												
支出合計	910	1,010	868	774	737	971	747	790	843	1,065	1,107	1,348	1,111	
年間収支	-138	-190	-18	107	112	-140	67	8	-162	-301	-375	-632	-412	
残高	1,000万円	862	672	654	761	873	733	800	808	647	346	-29	-660	
総収入	28,015	25,726	24,608	24,058	23,177	22,326	21,491	20,663	19,865	19,103	18,339	17,566	16,801	
総支出	44,332	43,421	42,411	41,543	40,769	40,033	39,061	38,314	37,524	36,581	35,516	34,409	33,051	
必要保証額	-16,317	-16,695	-16,807	-16,482	-16,379	-16,267	-16,127	-16,000	-15,852	-15,690	-15,530	-15,213	-14,530	
別家購入時住宅ローン返済額											3,920	3,839	3,750	

配偶者に万が一があった際の必要保証額を確認するためのシートです。

【教育費グラフ】シート

西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
経済年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
ご本人様	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
教育費合計	12	12	34	95	72	75	75	85	272	362	317	332	318	306
第1子様 教育総額			22	40	27	30	31	35	40	187	128	152	127	98
第2子様 教育総額				34	34	34	32	38	220	163	177	168	178	191
第3子様 教育総額														
第4子様 教育総額														
第5子様 教育総額														
預入れ(計画)	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
第1子様 預入れ														
第2子様 預入れ														
第3子様 預入れ														
第4子様 預入れ														
第5子様 預入れ														
ご本人様	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
第1子様合計			22	40	27	30	31	35	40	187	128	152	127	98
第2子様合計				34	34	34	32	38	220	163	177	168	178	191
第3子様合計														
第4子様合計														
第5子様合計														
計画	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
総資産	627	589	545	630	722	565	618	614	443	134	-844	-1,678	-2,090	-2,634

教育費についてのみピックアップして見れるようにしたCF表のシートです。

有料版【AI質問ログ】シート

質問内容	質問内容	回答
質問内容	質問内容	回答
質問内容	質問内容	回答
質問内容	質問内容	回答
質問内容	質問内容	回答
質問内容	質問内容	回答
質問内容	質問内容	回答
質問内容	質問内容	回答
質問内容	質問内容	回答
質問内容	質問内容	回答

AIに質問した質問と回答の過去のログを確認するためのシートです。有料版で利用できます。

有料版【アドバイス質問ログ】シート

質問日時	AIの回答
2024/11/20 15:59:31	負債は増額を認めており、2483円の増があります。家族構成が人であることを考慮すると、負債の見直しが必要ですが、外食を減らしたり、エネルギー利用を削減することでコストを削減することを検討してください。
2024/11/20 18:03:45	1. **負債（外食含む）** - 現在の割合: 21.397% - 増額の割合: 2.483円分 アドバイス: 外食が負担を助けているため、食材の購入や外食の回数を減らすことを検討してください。特に、外食の頻度を減らしたり、家での調理を増やすことでコストを削減することができます。
2024/11/20 18:04:44	1. **負債（外食含む）** - 現在の割合: 21.397% - 増額の割合: 2.483円分 アドバイス: 外食が負担を助けているため、食材の購入や外食の回数を減らすことを検討してください。特に、外食の頻度を減らしたり、家での調理を増やすことでコストを削減することができます。
2024/11/20 18:06:44	総資産の増減率の前年比は約4180万円、前年比は約5000万円、返済分は約5820万円、ローンが踏み合えない可能性が高いのは約5820万円以上です。ネットイオのバランスを確認すると、貯蓄、投資、債券保険のいずれも50%以上の割合を占めています。全体的に良好な状態です。ただし、各項目の金額を均等に近づけることを考えると、まずは合計金額を計算します。合計金額: 136,000 + 130,000 + 134,000 = 400,000円
2024/11/20 18:08:25	この合計金額を3で割ると、約133,333円となります。これに基づいて、各項目を133,333円に近づけるためのアドバイス案をします。 - 貯蓄を133,333円にするためには、約2,667円の増が必要。 - 投資を133,333円にするためには、約3,333円の増が必要。 - 債券保険を133,333円にするためには、約6,667円の増が必要。 これにより、各項目の金額を調整することで、より均等なバランスを実現することができます。

アドバイス済みの過去の回答のログを確認するためのシートです。有料版で利用できます。

有料版【住宅ローン(月)_premium】シート

住宅ローン計算(月)		比較表		返済計画表		返済計画表	
借入金額	返済期間	借入金額	返済期間	元金返済	元金返済	元金返済	元金返済
4,000,000円	33年	4,000,000円	33年				
金利	1.56%	返済額	元金返済				
毎月	62,000円						
ボーナス	6万円						
返済計画表	返済計画表	返済計画表	返済計画表				
返済	返済	返済	返済				

住宅ローンの返済予定を月単位で確認することが出来る計算機シートです。途中からの金利変更や、繰り上げ返済等の効果を確認することが出来ます。

有料版【住宅ローン(年)_premium】シート

住宅ローン計算機(年)

※1～4項目は変更していただくことで比較計算が可能です。
※5～8項目は無料シートでの住宅ローン計算機の設定されています。

住宅ローン申込金	4,000万円	比較表	返済総額 (返済元金+元金)	返済元金 (返済元金)
収入金額	4,000万円	住宅ローン申込金	¥62,717,825	¥62,717,825
ローン期間	33年	返済元金	¥62,717,825	¥62,717,825
金利	1.5%	住宅ローン申込金	¥62,717,825	¥62,717,825
元金	4,000万円	住宅ローン申込金	¥62,717,825	¥62,717,825
ボーナス	0万円	住宅ローン申込金	¥62,717,825	¥62,717,825

年次	ローン 残高	金利	繰上 返済額	返済額	返済元金		返済元金		返済元金		返済元金		返済元金	
					元金	元金	元金	元金	元金	元金	元金	元金		
1	40,000,000	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥490,538	¥490,538	¥490,538	0	0	0	0	0	0	
2	39,000,015	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥491,243	¥491,243	0	0	0	0	0	0	0	
3	38,000,030	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥491,948	¥491,948	0	0	0	0	0	0	0	
4	37,000,045	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥492,653	¥492,653	0	0	0	0	0	0	0	
5	36,000,060	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥493,358	¥493,358	0	0	0	0	0	0	0	
6	35,000,075	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥494,063	¥494,063	0	0	0	0	0	0	0	
7	34,000,090	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥494,768	¥494,768	0	0	0	0	0	0	0	
8	33,000,105	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥495,473	¥495,473	0	0	0	0	0	0	0	
9	32,000,120	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥496,178	¥496,178	0	0	0	0	0	0	0	
10	31,000,135	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥496,883	¥496,883	0	0	0	0	0	0	0	
11	30,000,150	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥497,588	¥497,588	0	0	0	0	0	0	0	
12	29,000,165	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥498,293	¥498,293	0	0	0	0	0	0	0	
13	28,000,180	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥499,000	¥499,000	0	0	0	0	0	0	0	
14	27,000,195	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥499,705	¥499,705	0	0	0	0	0	0	0	
15	26,000,210	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥500,410	¥500,410	0	0	0	0	0	0	0	
16	25,000,225	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥501,115	¥501,115	0	0	0	0	0	0	0	
17	24,000,240	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥501,820	¥501,820	0	0	0	0	0	0	0	
18	23,000,255	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥502,525	¥502,525	0	0	0	0	0	0	0	
19	22,000,270	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥503,230	¥503,230	0	0	0	0	0	0	0	
20	21,000,285	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥503,935	¥503,935	0	0	0	0	0	0	0	
21	20,000,300	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥504,640	¥504,640	0	0	0	0	0	0	0	
22	19,000,315	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥505,345	¥505,345	0	0	0	0	0	0	0	
23	18,000,330	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥506,050	¥506,050	0	0	0	0	0	0	0	
24	17,000,345	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥506,755	¥506,755	0	0	0	0	0	0	0	
25	16,000,360	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥507,460	¥507,460	0	0	0	0	0	0	0	
26	15,000,375	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥508,165	¥508,165	0	0	0	0	0	0	0	
27	14,000,390	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥508,870	¥508,870	0	0	0	0	0	0	0	
28	13,000,405	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥509,575	¥509,575	0	0	0	0	0	0	0	
29	12,000,420	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥510,280	¥510,280	0	0	0	0	0	0	0	
30	11,000,435	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥510,985	¥510,985	0	0	0	0	0	0	0	
31	10,000,450	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥511,690	¥511,690	0	0	0	0	0	0	0	
32	9,000,465	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥512,395	¥512,395	0	0	0	0	0	0	0	
33	8,000,480	1.5%	¥1,537,513	¥1,537,513	¥513,100	¥513,100	0	0	0	0	0	0	0	

住宅ローンの返済予定を年単位で確認することが出来る計算機シートです。途中からの金利変更や、繰り上げ返済等の効果を確認することが出来ます。

【2】初期設定

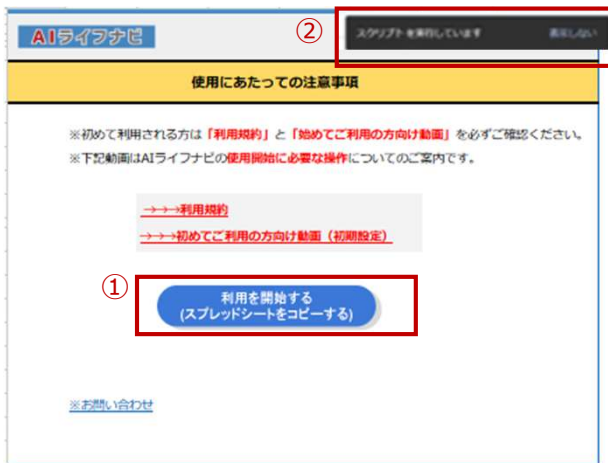
- ・利用を開始する（スプレッドシートのコピー）
- ・「認証が必要です」と出てきたときに
- ・自分の原本を作成する
- ・デスクトップへ原本のショートカットを作る

利用を開始する（スプレッドシートのコピー）

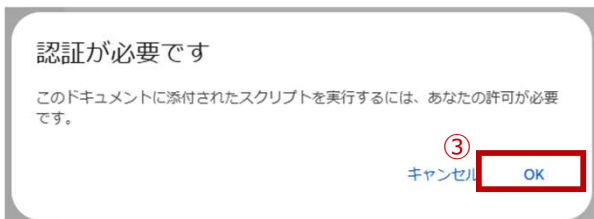
※AIライフナビを正常に利用するためには、**ブラウザ版（WEB版）のスプレッドシート**を利用する必要があります。スプレッドシートアプリでは正常に機能しませんので、ご注意ください。
上部にあるアドレスバーにURLが入っている状態がブラウザ版（WEB版）になります。アドレスバーが見当たらない場合には、アプリで開いている可能性があります。

AIライフナビでお客様のキャッシュフロー表（以下CF表）を作るためには、最初に入手したシートを【元シート】として原本保管し、【元シート】をコピーすることで、それぞれのお客様のCF表を作成することが可能です。
【元シート】は数字が入っていない真っ新なシートです。

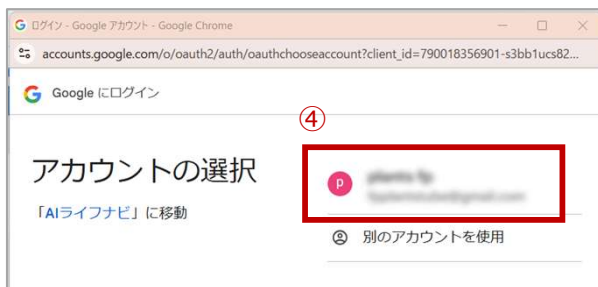
新しいCF表を作成するときには、前回作成したお客様の情報が残ってしまう事がないように、必ず【元シート】をコピーし、コピーしたものを編集しましょう。



①「利用を開始する（スプレッドシートをコピーする）」と書いてある青いボタンを押すと②「スクリプトを実行しています」と表示が出ます。



続いて「認証が必要です」のメッセージが出たら③OKをクリックします。



④アカウントの選択画面で使用するGoogleアカウントを選択してください。



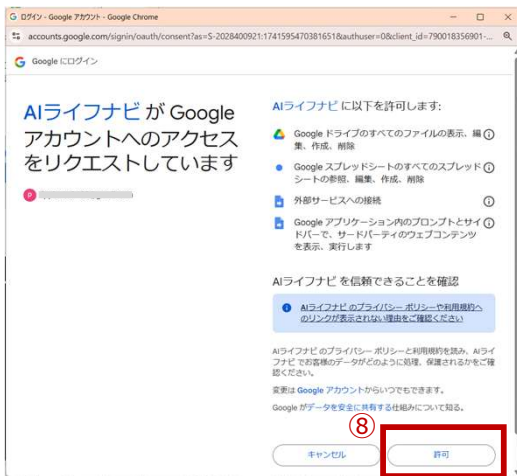
「このアプリは Google で確認されていません」という画面が出たら⑤「詳細」をクリックします。



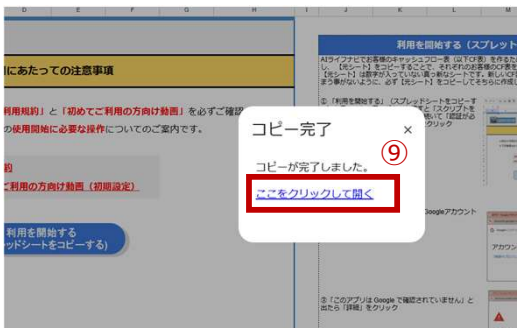
⑥「AIライフナビ (安全ではないページ) に移動」をクリックします。(安全ではないページ)は、Googleが作成した商品ではないという意味であり、安全ですのでご安心ください。



「AIライフナビにログイン」で⑦「次へ」をクリックします。



「AIライフナビがGoogleアカウントへのアクセスをリクエストしています」で⑧「許可」をクリックします。



その後「処理中スプレッドシートをコピーしています」と表示されるので、数秒待ちます。コピー完了の文字が表示されたら、⑨「ここをクリックして開く」を押します。

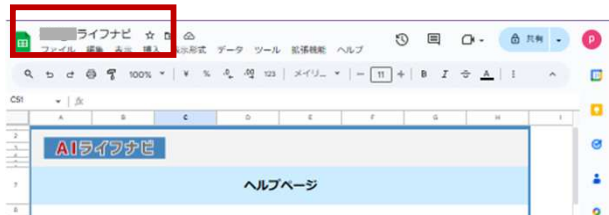


ご自身のGoogleアカウントにコピーされたAIライフナビのスプレッドシートが表示されます



⑩【AI】や【アドバイス】等のシートにある青いボタンを押してみます。
⑪「スクリプトを実行しています」と表示されます。

次に「認証が必要です」と出ますので、OKを押して進めてください。その後は先ほどと同じ作業をもう一度行います。これでAIライフナビが使えるようになります。



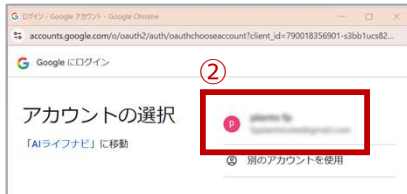
※新しくスプレッドシートをコピーした場合には、毎回この手順を行う必要があります。
※コピーした場合には、必ず名前を付けて保存するようにしましょう。

「認証が必要です」と出てきたときに

ボタンの機能やAIの機能をそのファイルで一番最初に利用する際、「認証が必要です」というメッセージに対応する必要があります。この操作は、最初の1回のみになりますが、必ず必要になります。



「認証が必要です」のメッセージが出たら①OKをクリックします。



②アカウントの選択画面で使用するGoogleアカウントを選択してください。



「このアプリは Google で確認されていません」という画面が出たら③「詳細」をクリックします。



④「AIライフナビ（安全ではないページ）に移動」をクリック(安全ではないページ)は、Googleが作成した商品ではないという意味であり、安全ですのでご安心ください。

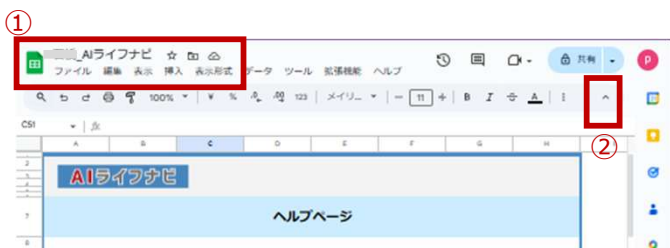


「AIライフナビにログイン」で⑤「次へ」をクリックします。



「AIライフナビがGoogleアカウントへのアクセスをリクエストしています」で⑥「許可」をクリックします。

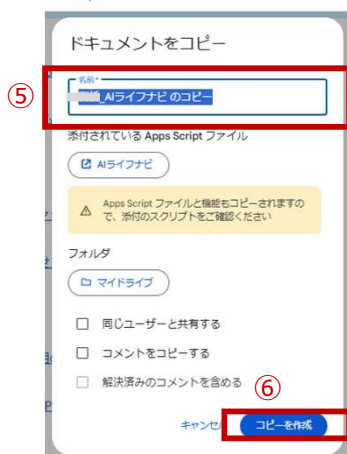
自分の原本を作成する



①最初のコピー後は、ファイル名は自動的に利用しているGoogleアカウントの名前で作成されます。まずはご自身の原本用として「原本」等の任意の名称を付けてデスクトップ等に保存をしておき、その原本をコピーして作成していくことをお勧めいたします。名称の変更は①の名称をダブルクリックしたら編集できるようになります。※ファイル名等のメニューバーが表示されていない場合は②の矢印をクリックすると表示・非表示が切り替えられます。

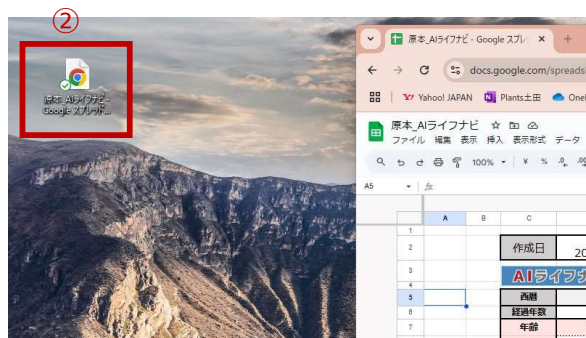
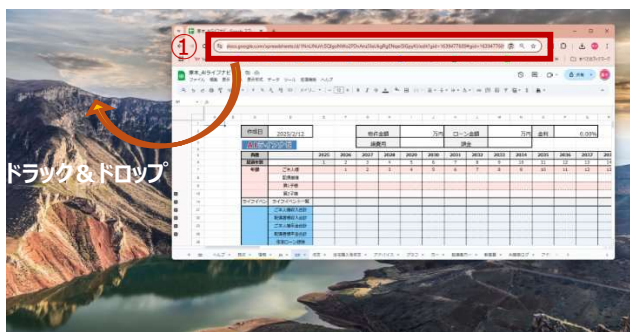


③メニューバーの左上「ファイル」をクリックし、④コピーを作成を選択します。



⑤任意の名称を入力し⑥「コピーを作成」をクリックするとコピーが作成できますので、それぞれのお客様のCF表を作成しご活用ください。

デスクトップへ原本のショートカットを作る



原本で作成したAIライフナビの①URLをクリックしそのままドラック(クリックしたまま離さずに移動)してデスクトップにもっていき、②原本のショートカットが作成されます。毎回ここから開いて、新たにコピーをして各お客様のCF表を作成してください。

【3】情報入力ページ

情報入力ページについて

- ①お客様情報
- ②生活費
- ③世帯収入
- ④資産
- ⑤住まい
- ⑥教育
- ⑦イベント
- ⑧車
- ⑨保険
- ⑩借入
- ⑪年金

情報入力ページについて

AIライフナビ 情報入力シート

① ② ③ ④

基本情報

ご本人	世界生まれ年	33歳	生まれ月	5月
	生まれ年(色辨)	1992年	日にち	8日
	設定寿命	82歳	既後の整理資金	100万円

配偶者

配偶者	配偶者生まれ年	31歳	生まれ月	12月
	生まれ年(色辨)	1994年	日にち	5日
	設定寿命	88歳	既後の整理資金	100万円

生活費

生活費合計	205,000円/月
食費(自給自足)	90,000円/月
雑費(電気、ガス、水道)	25,000円/月
通信費(携帯、固定、ネット、NHK)	15,000円/月
小遣い(世帯)	60,000円/月
雑費	12,000円/月
医療費	3,000円/月
その他	円/月

生活費目標

開始年齢	33歳
終了年齢	56歳
上昇率・下降率	2%
開始年齢	57歳
終了年齢	57歳
上昇率・下降率	-30%

世帯収入

世帯年収	1,060万円
月収(手取り)※DC、(仮)実用性	400,000円
ボーナス(手取り)	800,000円
退職金支給年齢	65歳
退職金	1,500万円
世界生まれ収(納庫)	700万円

収入

収入変化(年齢)	56歳
収入変化(金額) (納庫)	1,080万円
収入変化(年齢)	59歳
収入変化(金額) (納庫)	1,080万円
完全退職年齢	64歳
余額	600万円

収入

収入変化(年齢)	60歳
収入変化(金額) (納庫)	600万円
収入変化(年齢)	歳
収入変化(金額) (納庫)	万円
収入変化(年齢)	歳
収入変化(金額) (納庫)	万円

③

未子孫(色) 納庫本人年齢	
未子孫(色) 納庫本人年齢	18
未子孫(色) 納庫本人年齢	52
未子孫(色) 納庫本人年齢	22
未子孫(色) 納庫本人年齢	56
未子孫(色) 納庫本人年齢	24
未子孫(色) 納庫本人年齢	58
未子孫(色) 納庫本人年齢	20
未子孫(色) 納庫本人年齢	54

※未子が生まれの順、卒業年齢は17歳・2歳・23歳・19歳が表示されます

DC計費機

DC現在評価額	126万円
DC利率	2%
DC年額	1,045万円

※上記は評価額です。CF表には手取り額やDC受取額を記入してください。

※による収入変化計費機

開始年齢	33歳
終了年齢	56歳
開始年齢	700万円
年間上昇率	2%
終了年齢時年収	1,082万円

④

AIライフナビでキャッシュフロー表（以下CF表）を作るためには、【情報】のシートにお客様からヒアリングした情報を入力していきます。情報のシートに必要な情報が入っていれば、CF表が出来上がります。

①【情報】シートの左半分（E列）の情報を入力すれば、基本的なCF表は完成します。

②さらに細かく詳細な情報を反映させたい場合には、右半分（J列）を使用します。

③右側の欄外には、入力のためのサポート機能や情報の早見表などが準備されているので、必要に応じて使用しましょう。

色がついているセルが入力欄です。④のように入力する列の中で色がついていないセルは、計算式が入っていて自動で合計値等が入るようになっているので、上書き入力しないように気を付けましょう。

AIライフナビの入力では、本人 = 夫、配偶者 = 妻として入力をしてください。ヒアリングしている相手が妻の場合は、間違えて本人欄に妻の情報を入れないよう注意しましょう。（男女を入れ替えてしまうと、年金などに誤った数値が反映してしまいます。）

情報で入力した数値がCF表に反映する際、1,000円以下は四捨五入されて表現されますが、計算上は1,000円以下も加味して計算されていますので、合計値などには反映する仕様です。

①お客様情報

↓入力(半角)		↓入力(半角)	
基本情報			
ご本人	世帯主年齢 ①	33	歳
	生まれ年(西暦)	1992	年
	設定寿命	82	歳
	生まれ月 ②	5	月
	日にち	8	日
	死後の整理資金	100	万円
配偶者様	配偶者年齢	31	歳
	生まれ年(西暦)	1994	年
	設定寿命	88	歳
	生まれ月	12	月
	日にち	5	日
	死後の整理資金	100	万円

③ [ご家族入力へ](#)

手続 日いち 死後の整理資金
情報E208 2022
ご家族入力へ

①ご本人・配偶者のそれぞれの年齢情報を入れます。ここで入力する年齢が1年目になってCF表が作成されるので、「今年の12月31日に迎えている年齢」で考えた数値を入力します。作成時誕生日前の場合には、一つプラスして今年の誕生日後の年齢を入力します。

「設定寿命」には、何歳まで生存する前提でCF表を作成するかということを考えて、入力します。平均寿命で考える場合や100歳まで生きた想定など、お客様のご意見や状況によって設定してください。長生きすればするほどお金はかかりますので、厳しい条件で結果が出ることになります。

②には情報を入れなかったとしても、CF表には大きな影響はありません。しかしながら、今後保険の提案などにつなげたい場合には、このタイミングで生年月日を確認しておく、違和感なくお聞きすることが出来るので、ここで聞いておく後から確認する手間が省けます。

「死後の整理資金」はお客様自身のお葬式代の準備資金として入れておく金額と考えればよいでしょう。不要とお考えの方もいらっしゃるの、入れても入れなくてもどちらでも構いません。

③そのままお子様やそのほか同居家族の情報を入力するには「ご家族入力へ」をクリックします。「ご家族入力へ」をクリックすると該当欄へジャンプするための小窓が表示されますので、クリックします。お子様情報等を入力する【教育】の項目にジャンプするので、入力しましょう。（入力方法は【教育】を参照）

ここで先にお子様の情報を入れておくことにより、次の項目の生活費の変動率を入れる際スムーズな入力が可能になります。（お子様の年齢によって変動率を変更するため）

②生活費

生活費	
内訳	生活費合計 ① 205,000 円/月
	食費(外食含む) 90,000 円/月
	光熱費(電気、ガス、水道) 25,000 円/月
	通信費(新聞、携帯、電話、ネット、NHK) 15,000 円/月
	小遣い(世帯) 60,000 円/月
	雑費 12,000 円/月
	医療費 3,000 円/月
	その他 円/月
生活費上昇率	開始年齢 ② 33 歳
	終了年齢 56 歳
	上昇率 下降率 2 %
	開始年齢 57 歳
	終了年齢 57 歳
	上昇率 下降率 -30 %

末子独立時本人年齢	
末子高校卒業年齢	18
末子高校卒業時本人年齢	52
末子4年制大学卒業年齢	22
末子4年制大学卒業時本人年齢	56
末子6年制大学卒業年齢	24
末子6年制大学卒業時本人年齢	58
末子短期大学卒業年齢	20
末子短期大学卒業時本人年齢	54

※末子が早生まれの場合、卒業年齢は17歳・21歳・23歳・19歳が表示されます

①の色のついているセルにヒアリングした生活費を入力していきます。「生活費合計」の色のついてないセルには、自動的に合計値が計算される数式が入っているため、入力する必要はありません。

「その他」には、上記項目以外で確保しておきたい金額などを入れるのに使用してもいいですし、特になければ空欄でも問題ありません。

当てはまらない項目がある場合には、FPさん自身でルール付けをしてほかの項目に足して問題ありません。項目名も変更いただいても問題ありません。

「生活費合計」が月でいくらになるかが大事です。こ子で入力したひと月の生活費がベースとなって、今後の人生に影響してきますので、今現在のみかかっている支出ですと続かないようなものは生活費に入れず、イベント欄などを使用しましょう。(歯の矯正治療代・期間限定の英会話教室等)

②にはこの先の生活費の上昇率、下降率を入れていきます。お子様が独立するまでは、お子様の成長とともに生活費が上昇していき、末子独立後に夫婦二人の生活費に戻るといった設定を入れていきます。その際、先に【教育】のお子様情報を入力していた場合には、欄外にある③の末子独立時の本人年齢早見表を参考にすることが出来ます。

一番上の「開始年齢」には、一人目のお子様が生ずる年の本人の年齢を入力します。すでにお子様がいっしょにいる場合には、現在の年齢を入力します。「終了年齢」には③から読み取れる末子卒業時の本人年齢を入れます。「上昇率下降率」には子供の人数に合わせて何%上昇するかを入力します。(数値は下記参照)

次にお子様独立後の生活費を下げるための入力を行います。徐々に生活費を上げていった子育て期とは違い、お子様独立後は一気に生活費を下げますので、下の「開始年齢」「終了年齢」にはどちらにも末子卒業時の本人年齢の翌年の年齢を入力します。「上昇率下降率」には子供の人数に合わせて何%下降するかを入力します。(数値は下記参照)

お子様1人当たりの上昇率 → 1% (2人なら2%、3人なら3%)

お子様1人当たりの下降率 → -15% (2人なら-30%、3人なら-45%)

上記上昇率下降率は基準の数値の為、お子様誕生のタイミングや年齢差によって調整が必要な場合があります。適宜調整ください。

さらに細かく上昇率下降率を設定したい場合には、【応用機能】の【生活費変動】を参照ください。

③世帯収入

世帯収入

収入	世帯年収	1,060万円
月収(手取り)※DC、iDeCo天引き前	400,000円	
ボーナス(手取り)	800,000円	
退職金支給年齢	65歳	
退職金	1,500万円	
世帯主年収(額面)	700万円	

収入変化	収入変化①年齢	55歳
収入変化①金額(額面)	1,080万円	
収入変化②年齢	59歳	
収入変化②金額(額面)	1,080万円	
完全退職年齢	64歳	
金額	600万円	

⑤

配偶者収入	配偶者月収(手取り)※DC、iDeCo天引き前	200,000円
配偶者ボーナス(手取り)	500,000円	
退職金支給年齢	60歳	
退職金	500万円	
配偶者年収(額面)	360万円	

収入変化	収入変化①年齢	55歳
収入変化①金額(額面)	450万円	
収入変化②年齢	歳	
収入変化②金額(額面)	万円	
完全退職年齢	60歳	
金額	450万円	

⑤

収入	月収(額面)	500,000円
ボーナス(額面)	1,000,000円	
DC会社拠出額	10,000円/月	
DC個人マッチング額	5,000円/月	
DC受取額	1,045万円	
世帯主年収(額面からの自動計算)	700万円	

収入変化	収入変化①年齢	60歳
収入変化①金額(額面)	600万円	
収入変化②年齢	歳	
収入変化②金額(額面)	万円	
収入変化③年齢	歳	
収入変化③金額(額面)	万円	
ご本人様書写ON/OFF		

配偶者収入	月収(額面)	250,000円
ボーナス(額面)	625,000円	
DC会社拠出額	円/月	
DC個人マッチング額	円/月	
DC受取額	円/月	
配偶者年収(額面からの自動計算)	363万円	

収入変化	収入変化①年齢	歳
収入変化①金額(額面)	万円	
収入変化②年齢	歳	
収入変化②金額(額面)	万円	
収入変化③年齢	歳	
収入変化③金額(額面)	万円	
ご本人様書写ON/OFF		

⑥

②

DC計算機	
DC現在評価額	126万円
DC利回り	2%
DC予想額	1,045万円

⑦

%による収入変化計算機	
開始年齢	33歳
終了年齢	55歳
開始時年収	700万円
年間上昇%	2%
終了年齢時年収	1,082万円

本人の収入情報を入れていきます。手取りの月収・ボーナスは必ず入れましょう。右の欄の額面入力欄は、入れなくてもCF表には影響ありませんが、ここを入力すると自動で額面年収が計算されます。

「月収(手取り) ※DC、iDeCo天引き前」には月収の手取り額を入力しますが、もし給料天引きされている保険料や確定拠出年金(DC)の拠出金・iDeCo掛金などがある場合には、足した金額(引かれる前の金額)を入力しましょう。後から投資の欄や保険の欄で支出として金額を入力するので、ここで引かれた後の金額を入れると、二重で支払っていることになってしまいます。なので必ずヒアリングで天引きされているものがないかを確認しましょう。

「ボーナス(手取り)」にも、天引きされているものがある場合には、足した金額(引かれる前の金額)を入力しましょう。

「退職金支給年齢」には、会社員であれば定年の年齢を確認して入力します。

「退職金」にはDC以外の退職金(確定給付年金DBや退職一時金)を入力します。

DCの制度がある場合には①に情報を入れていきます。②の欄外右側にある【DC計算機】を利用して利回りを設定し、「DC予想額」に計算された数値を①の「DC受取額」へ手入力します。退職金支給年齢の年に退職金額とDC額の合算された数値がCF表へ反映します。この時「退職金支給年齢」が入っていないと【DC計算機】が正しく機能しませんので、必ず入力してください。

収入変化を入力します。収入の変化は、入力した年齢と金額に現在の金額から徐々に推移していきます。

上記図の③の入力の場合、現在700万円の年収が55歳で1,080万円に到達するように徐々に増加していきます。59歳までは1080万円が変わらず、60歳になるとガクッと600万円まで一気に下がっています。そして最後の④「完全退職年齢」64歳の時まで600万円が継続して、そこで退職となります。収入の変化は5回まで細かく設定することが出来ます。

④の「完全退職年齢」と「金額」は、必ず入力してください。ここを入れていないと、CF表の終わりまでずっと収入が入ってしまいます。

⑤年収欄には必ず額面年収を入力しましょう。額面の月収・ボーナスを入力済みの場合には、⑥に自動計算された年収が入るので、お客様の認識と相違ないか確認の上⑤に手入力してください。

⑦収入の上昇を%で考えたい場合には、欄外にある⑦の【%による収入変化計算機】を使用して算出した金額を③の「収入変化」に入力していきましょう。

配偶者収入	配偶者月収(手取り)※DC、iDeCo天引き前	200,000	円
	配偶者ボーナス(手取り)	500,000	円
	退職金支給年齢	60	歳
	退職金	500	万円
	配偶者年収(額面)	360	万円
収入変化	収入変化①年齢	55	歳
	収入変化①金額(額面)	450	万円
	収入変化②年齢		歳
	収入変化②金額(額面)		万円
	完全退職年齢	60	歳
	金額	450	万円

配偶者収入	月収(額面)	250,000	円
	ボーナス(額面)	625,000	円
	DC会社拠出額		円/月
	DC個人マッチング額		円/月
	DC受取額		円/月
	配偶者年収(細面からの自動計算)	363	万円
収入変化	収入変化③年齢		歳
	収入変化③金額(額面)		万円
	収入変化④年齢		歳
	収入変化④金額(額面)		万円
	収入変化⑤年齢		歳
	収入変化⑤金額(額面)		万円
	配偶者様産休ON/OFF	①	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF

③

②

配偶者の収入も、本人収入と同じように入力していきます。

産休育休での収入減少を反映させたい場合には、①の「配偶者様産休ON/OFF」に○が入っている状態にします。○を入れることによって、子供が0歳の年の収入が自動で減少します。0歳以降も継続する場合には、CF表の数字を直接編集してください。

もし、時短勤務を反映させたい場合は収入変化の欄を利用して金額設定してもいいですが、直接CF表に数式を入れてしまう方法もあります。

②時短を開始したい年の収入欄をクリックし、③の数式バーのところで直接時短によって減少する収入になるように式を打ち込みます。(この場合は7掛けになるように×0.7を後ろに入力してます) 時短を反映させたい年齢まで、この数式をコピーします。

その他収入①	毎月のその他収入①	3	万円/月
	毎月のその他収入① 何歳から	33	歳
	毎月のその他収入① 何歳まで	34	歳
	毎年のその他収入 年間		万円/年
	毎年のその他収入 何歳から		歳
	毎年のその他収入 何歳まで		歳
	単発のその他収入①(一回)		万円
	単発のその他収入①(何歳時)		歳

その他収入②	毎月のその他収入②		万円/月
	毎月のその他収入② 何歳から		歳
	毎月のその他収入② 何歳まで		歳
	不定期のその他収入 年間		万円
	不定期のその他収入(何歳時)		歳
	単発のその他収入②(一回)		万円
	単発のその他収入② 何歳時		歳

その他の収入には、副業の収入、配当金、不動産収入、贈与、家賃補助など、お給料や事業所得以外の収入を入力します。住宅購入検討中のお客様には、ご両親からの援助などないか(住宅資金贈与)しっかりと確認することが大事です。

数年続くものは「毎月のその他収入」や「毎年のその他収入」欄をつかって何歳から何歳まで発生する収入なのかを入力します。

単発のものは1回で終わるものとして、発生年齢だけを入力します。

税金等がかかってくる収入に関しては、税引き後の金額を入れるようにしましょう。

なにに関する収入なのか後からわかるように、横にメモ書き等しておくともいいと思います。

④資産について

資産について

内訳	総資産	1,347万円
①	現在資産総額 預貯金	900万円
	投資保険系資産	447万円
	普通預金	900万円
	財形貯蓄	万円
	定期預金	万円
	年金	72万円
	保険	万円
	個別株	万円
	投資信託	万円
	iDeCo	万円
	NISA	180万円
	配偶者iDeCo	120万円
	配偶者NISA	75万円

現在保有している資産についてヒアリングし入力していきます。家庭の資産なので、夫妻の合算の数字を入れましょう。「個別株・投資信託・iDeCo・NISA」等は現在の評価額で入力します。

「年金」や「保険」については、貯めている金額があるならば現在どれくらいの金額になっているのかを入力しましょう。わからない場合は無理に入れなくても大丈夫です。この「年金」や「保険」に入れた数字は、直接CF表には影響しません。グラフの保有資産バランスなどに反映されます。

①すべて入力すると、「総資産」の金額と、その内訳として「預貯金」「投資保険系資産」が分かれて自動で計算され確認することが出来ます。

積立資産(毎月)	②	毎月の積み立て	88,000円/月
		普通預金	円/月
		財形	円/月
		定期預金	円/月
		保険	円/月
		年金	円/月
		個別株	円/月
		利率	%
		一括取り崩し年齢	歳
		投資信託	円/月
		利率	%
		一括取り崩し年齢	歳
		iDeCo	円/月
		利率	%
		一括取り崩し年齢	歳
		NISA	50,000円/月
		利率	3%
		一括取り崩し年齢	65歳
		配偶者iDeCo	23,000円/月
		利率	3%
		一括取り崩し年齢	64歳
		配偶者NISA	15,000円/月
		利率	3%
		一括取り崩し年齢	0歳

積立資産(毎年)	③	毎年の積み立て	0万円/年
		普通預金	万円
		財形	万円
		定期預金	万円
		保険	万円
		年金	万円
		個別株	万円
		投資信託	万円
		NISA	万円
		配偶者NISA	万円

④	定期取り崩し(※定期取り崩しを使う場合は、一括取り崩し年齢を0歳にしてください)		
	個別株	100万円毎年取り崩す	歳から
	投資信託	100万円毎年取り崩す	歳から
	iDeCo	100万円毎年取り崩す	歳から
	NISA	100万円毎年取り崩す	歳から
	配偶者iDeCo	100万円毎年取り崩す	歳から
	配偶者NISA	68万円毎年取り崩す	歳から
		120万円毎年取り崩す	歳から

毎月や毎年積み立てている金額を入力します。

毎月の積立は②に、毎年の積立（ボーナス時等毎月ではないもの）は③に年間の積立金額を入力します。太枠で囲まれたものは、投資系の積立欄になります。予想利率や取り崩し年齢を入力しましょう。年間の積立資産には、同じ種類の資産欄で毎月で設定した利率や取り崩し年齢が反映します。「普通預金」「財形」「定期預金」に入力した数字は、CF表上ではすべて「年間収支」の欄に合算されます。

②の投資欄で一括取り崩し年齢を入れた場合は、その資産はすべてその年齢で解約となり、翌年全額崩した金額が収入の「投資商品払い出し」欄に入ってきます。

もし、一括で取り崩すのではなく、定期的に決めた金額で取り崩していく場合には、④の「定期取り崩し」の欄を使用します。各商品何歳からいくらずつ取り崩すという設定ができます。その場合取り崩されず手元に残っている金額には引き続き利率が反映して運用が続くので、一括取り崩しよりも資産は貯まる結果となります。この時寿命までに全額取り崩しが終了しない場合には、寿命後にも取り崩しが続いてしまうので注意してください。

④の定期取り崩しを使用する際には、必ず②の「一括取り崩し年齢」の欄は0（ゼロ）を入れるようにしましょう。0を入れておかないと、定期取り崩しが反映しません。

⑤住宅 現在賃貸・将来購入/買替

住宅	
【1】現在賃貸・将来購入/買替	
現在の賃料	12万円/月
物件価格	購入予定金額
	6,000万円
	諸費用
	400万円
	購入時現金支払分(頭金・諸経費等)
	400万円
	購入予定時期
	2年後
	固定資産税
	18万円/年
火災保険	保険料
	20万円
	何年毎
	5年毎
マンションの場合	管理費
	12,000円/月
	修繕費
	10,000円/月
①	上昇率(修繕費)
	3%
	いくらまで(修繕費)
	36万円/年
戸建ての場合	修繕時期(購入年から〇年後)
	年後
②	修繕サイクル
	年に一度
	修繕費
	万円
住宅ローン	③
	ローン総額
	6,000万円
	控除上限
	2,000万円
	控除期間
	10年

④

住宅ローン限度額一覧表			
控除率 0.7%	上限金額 (万円)	子育て・若者	期間 (年)
新築 長期優良・低炭素	4,500	5,000	13
新築 ZEH	3,500	4,500	13
新築 省エネ	3,000	4,000	13
新築 その他	0		13
中古 環境性能基準達	3,000		10
中古 その他	2,000		10

※2025年は子育て・若者世帯に優遇あり

今は賃貸に住んでいて、将来的には持ち家を持ちたいと考えている方は、この欄を使用します。上から順番に水色のセルに入力していきます。

「現在の賃料」には賃料 + 管理費の金額を入れます。お車をお持ちで駐車場も借りている場合には、含んだ額を入れるといいでしょう。

「購入予定金額」には、物件が決まっていない場合には、何となくイメージしている住宅の金額をざっくりで入れて大丈夫です。住宅の金額が諸経費込みでの金額になるのか、諸経費は別で物件価格のみになるのか確認し、諸経費が別でかかる場合には、おおよその金額を入力しましょう。

「購入時現金支払分(頭金・諸経費等)」には、最初に現金で支払う金額を入力します。諸経費も含めすべてローンに組み込む場合には、ゼロになります。

「固定資産税」「火災保険料」「管理費」「修繕費」などは、わからない場合にはおおよその金額をご案内して入力していきます。エリアや建物の種類等によって変わるので、調べて入力しましょう。(AIに聞いてみることも出来ます)

マンションの場合、必ず「管理費」「修繕費」が毎月かかってきますので、①に入力します。とくに修繕費は築年数の経過とともに徐々に上昇していく傾向にあります。「上昇率(修繕費)」に入力した%で、毎年徐々に修繕費側だけ上昇していく設定に出来ます。上がり続けてしまうと大きな金額になりすぎてしまいますので、「いくらまで(修繕費)」に上限金額を入れておくと、修繕費の金額がその金額までの上昇でストップします。マンションの場合は②の「戸建ての場合」は入力する必要はありません。

戸建ての場合には①の「マンションの場合」は入力する必要はありません。②に戸建ての修繕費が何年に1回いくらくらいかかるのかを入力します。どこで(メーカー・工務店等)戸建てを建てるのかによって、期間や金額は変わってきますので、確認して入力しましょう。

③の「ローン総額」には物件価格 + 諸経費から購入時支払額を引いた、ローンの金額が自動的に計算されてはいます。

住宅ローン控除について、どのランクが適用されるのかを、欄外の④の住宅ローン限度額一覧表を参考にして、「上限金額」「控除期間」をプルダウンから選択しましょう

住宅ローン予定①	借入金額	4,000	万円
	ローン期間	35	年
	金利	1.5	%
①	月々	4,000	万円
	ボーナス	0	万円
②	月々支払い	122,474	円
	ボーナス支払い	0	円

住宅ローン予定②	借入金額	2,000	万円
	ローン期間	35	年
	金利	1.5	%
①	月々	2,000	万円
	ボーナス	0	万円
②	月々支払い	61,237	円
	ボーナス支払い	0	円

③

ローン完済希望年齢		歳
-----------	--	---

→段階金利の設定をする

ローン完済希望年齢		歳
-----------	--	---

→段階金利の設定をする

単独ローンの場合には「住宅ローン予定①」にのみ入力します。ペアローンの場合には「住宅ローン予定②」の欄も使って2つに分けましょう。

ペアローンの場合にはローン総額をどのような割合で組むかを検討し、「住宅ローン予定①」の「借入金額」欄に片側のローンの金額を入力します。「住宅ローン予定②」の「借入金額」欄には、自動で残りの金額が入ります。「ローン期間」は一般的には35年が多いですが、近年40年、50年等の商品も出ていますので、お客様に確認の上入力しましょう。

もしローンを組まないで一括で住宅を購入する場合には、「ローン期間」を1年にしてください。

「金利」は、ローン全期間の平均金利を予想して設定しましょう。変動金利の場合、徐々に金利が上昇して可能性があります。段階的に金利上昇を入れる設定はかなり細かい作業になりますので、平均値の金利を仮定して入力しシミュレーションするのがおすすめです。（段階金利の設定をやる場合は応用機能参照）

①「月々」の欄には、ローン全体の金額の中で、月々返済に充てる金額を入力します。総額すべて月払いであれば、全額を入力します。ボーナス払いを併用する場合には、月々払いに充てる金額を入力すれば、残りのローン金額は自動的に「ボーナス」欄に入ります。月の支払い額は、自動的にローン年数から自動計算して②「月々支払い」欄に反映されます。①「月々」の欄に毎月の支払い額を入力してしまうミスが多いので、注意しましょう。

③ローン完済希望年齢は、入力してもしなくてもCF表には影響しません。お客様がいつくらいまでにローンをゼロにすることを目標としているのかを把握し、金融商品のご提案などの参考にするためにある欄となります。

⑤住宅 現在保有／今後も賃貸（購入予定なし）

【2】現在所有

	購入時期	年前
	ローン残額	万円
	固定資産税	万円
火災保険	保険料	万円
	次回支払年	年後
	何年毎	年毎
マンションの場合	管理費	円/月
①	修繕費	円/月
	上昇率(修繕費)	3%
	いくらまで(修繕費)	40万円/年
戸建ての場合	修繕時期	年後
	修繕サイクル	年に一度
	修繕費	万円
住宅取得時	控除上限	万円
②	控除期間	13年
	契約時の控除率	0.70%
住宅ローン①	借入金額残高	万円
③	残りローン期間	年
	ローン完済希望年齢	歳
	金利	%
	月々	万円
	ボーナス	0万円
	月々支払い	0円
	ボーナス支払い	0円
		→段階金利の設定をする
住宅ローン②	借入金額残高	0万円
	残りローン期間	年
	ローン完済希望年齢	歳
	金利	%
	月々	万円
	ボーナス	0万円
	月々支払い	0円
	ボーナス支払い	0円
		→段階金利の設定をする

すでに持ち家をお持ちの方、投資用物件のローンがある方などは、【現在保有】欄を使います。

支払が継続中のものになりますので、現状の情報を上から順番にヒアリングして入力していきましょう。

①マンションの場合の管理費修繕費の入力、戸建ての場合の修繕費の入力などは、【現在賃貸・将来購入】と同じ入力方法です。

②住宅ローン控除は、購入のタイミングによって当時の法令の控除期間や控除率になりますので、確認して入力しましょう。また、投資用物件等の場合は、そもそも住宅ローン控除がないので、適用されていない場合には空欄にしましょう。

住宅ローンの詳細は、基本的に【現在賃貸・将来購入】の場合と同じになりますが、ローン金額を入力する③「借入金額残高」欄は、購入時のローン金額ではなく、現在の残債の額になりますので、間違えないように注意しましょう。

ここでもペアローンの場合には、「住宅ローン②」も使って入力します。

【3】今後も賃貸（購入予定なし）

現在の賃料(駐車場、管理費等含む)	万円/月
更新期間	年毎
更新料	ヶ月
次回更新年	年後

生涯賃貸で考えている方の場合には、【今後も賃貸（購入予定なし）】を使用します。

駐車代や管理費（共益費）などを含んだ月額を入力します。入力欄をすべて入力すると、更新年には更新料が反映した年額負担となり、亡くなるまでずっと同じ家賃が反映します。

途中で賃料を変更する場合などは、直接CF表に手入力に対応してください。

⑥教育

教育																									
① 1人	<table border="1"> <tr> <td>生年月日</td> <td>2022年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園</td> <td>公立</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園年数</td> <td>4年</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>公立</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>私立</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>私立</td> </tr> <tr> <td>下宿(仕送り額)</td> <td>5万円/月</td> </tr> <tr> <td>大学</td> <td>国公立</td> </tr> <tr> <td>結婚時の祝い金</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td>結婚年齢</td> <td>30歳</td> </tr> </table>	生年月日	2022年		6月		18日	幼稚園、保育園	公立	幼稚園、保育園年数	4年	小学校	公立	中学校	私立	高校	私立	下宿(仕送り額)	5万円/月	大学	国公立	結婚時の祝い金	50万円	結婚年齢	30歳
生年月日	2022年																								
	6月																								
	18日																								
幼稚園、保育園	公立																								
幼稚園、保育園年数	4年																								
小学校	公立																								
中学校	私立																								
高校	私立																								
下宿(仕送り額)	5万円/月																								
大学	国公立																								
結婚時の祝い金	50万円																								
結婚年齢	30歳																								
② 2人	<table border="1"> <tr> <td>生年月日</td> <td>2026年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園</td> <td>私立</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園年数</td> <td>6年</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>公立</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>私立</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>私立</td> </tr> <tr> <td>下宿(仕送り額)</td> <td>5万円/月</td> </tr> <tr> <td>大学</td> <td>私立理系</td> </tr> <tr> <td>結婚時の祝い金</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td>結婚年齢</td> <td>30歳</td> </tr> </table>	生年月日	2026年		4月		5日	幼稚園、保育園	私立	幼稚園、保育園年数	6年	小学校	公立	中学校	私立	高校	私立	下宿(仕送り額)	5万円/月	大学	私立理系	結婚時の祝い金	50万円	結婚年齢	30歳
生年月日	2026年																								
	4月																								
	5日																								
幼稚園、保育園	私立																								
幼稚園、保育園年数	6年																								
小学校	公立																								
中学校	私立																								
高校	私立																								
下宿(仕送り額)	5万円/月																								
大学	私立理系																								
結婚時の祝い金	50万円																								
結婚年齢	30歳																								
③ 3人	<table border="1"> <tr> <td>生年月日</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園年数</td> <td>-年</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>下宿(仕送り額)</td> <td>万円/月</td> </tr> <tr> <td>大学</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>結婚時の祝い金</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>結婚年齢</td> <td>歳</td> </tr> </table>	生年月日	年		月		日	幼稚園、保育園	-	幼稚園、保育園年数	-年	小学校	-	中学校	-	高校	-	下宿(仕送り額)	万円/月	大学	-	結婚時の祝い金	万円	結婚年齢	歳
生年月日	年																								
	月																								
	日																								
幼稚園、保育園	-																								
幼稚園、保育園年数	-年																								
小学校	-																								
中学校	-																								
高校	-																								
下宿(仕送り額)	万円/月																								
大学	-																								
結婚時の祝い金	万円																								
結婚年齢	歳																								
④ 4人	<table border="1"> <tr> <td>生年月日</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園年数</td> <td>-年</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>下宿(仕送り額)</td> <td>万円/月</td> </tr> <tr> <td>大学</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>結婚時の祝い金</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>結婚年齢</td> <td>歳</td> </tr> </table>	生年月日	年		月		日	幼稚園、保育園	-	幼稚園、保育園年数	-年	小学校	-	中学校	-	高校	-	下宿(仕送り額)	万円/月	大学	-	結婚時の祝い金	万円	結婚年齢	歳
生年月日	年																								
	月																								
	日																								
幼稚園、保育園	-																								
幼稚園、保育園年数	-年																								
小学校	-																								
中学校	-																								
高校	-																								
下宿(仕送り額)	万円/月																								
大学	-																								
結婚時の祝い金	万円																								
結婚年齢	歳																								
⑤ 5人	<table border="1"> <tr> <td>生年月日</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園年数</td> <td>-年</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>下宿(仕送り額)</td> <td>万円/月</td> </tr> <tr> <td>大学</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>結婚時の祝い金</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>結婚年齢</td> <td>歳</td> </tr> </table>	生年月日	年		月		日	幼稚園、保育園	-	幼稚園、保育園年数	-年	小学校	-	中学校	-	高校	-	下宿(仕送り額)	万円/月	大学	-	結婚時の祝い金	万円	結婚年齢	歳
生年月日	年																								
	月																								
	日																								
幼稚園、保育園	-																								
幼稚園、保育園年数	-年																								
小学校	-																								
中学校	-																								
高校	-																								
下宿(仕送り額)	万円/月																								
大学	-																								
結婚時の祝い金	万円																								
結婚年齢	歳																								

5人分のお子様情報を入れることができます。左側の3人分で足りない場合は、右側の欄を使いましょう。

お子様の年齢は、①生年月日を入力すると反映されますが、4月2日～12月31日生まれのお子様は、小学校入学が7歳の年になり、1月1日～4月1日生まれの早生まれのお子様は、小学校入学が6歳の年齢になるように、教育費が反映されます。誕生日によって反映が変わってきますので、しっかりと生年月日をヒアリングしましょう。

②幼稚園・保育園～大学までの進路をプルダウンの中から選択します。保育園は公立私立のほかにも認可保育・認定こども園等様々な種類があるため、明確に公立でない場合は私立を選択しておくといいたいでしょう。その後の進路も、まだ未定の場合は、可能性があるのであればお金がかかる方の選択をしておく安全です。

「下宿（仕送り額）」「結婚時の祝い金」は不要な場合は空欄で構いません。

教育費には、学費のほかに文部科学省が提供している「学校種別の学習費総額」から一般的な学校外活動費（習い事等）も含めた額が反映されます。もし一般的な習い事代よりも多めに入れておきたい場合には、③「教育費（習い事）」に月にプラスしたい金額を入れておくと、末子が22歳になるまでその金額が上乗せされます。細かく年齢別に入力したい場合などは、直接CF表に手打ちで入力してください。

⑦ イベント

イベント			
その1	イベント名称	帰省	20万円
	イベント金額		33歳
	イベント開始年齢		60歳
	イベント終了年齢		1年毎
	イベントサイクル		
その2	イベント名称	レジャー	30万円
	イベント金額		33歳
	イベント開始年齢		75歳
	イベント終了年齢		1年毎
	イベントサイクル		
その3	イベント名称	家具家電	10万円
	イベント金額		33歳
	イベント開始年齢		82歳
	イベント終了年齢		1年毎
	イベントサイクル		
① その4	イベント名称	引越し	80万円
	イベント金額		35歳
	イベント開始年齢		35歳
	イベント終了年齢		1年毎
	イベントサイクル		
その5	イベント名称		万円
	イベント金額		歳
	イベント開始年齢		歳
	イベント終了年齢		年毎
	イベントサイクル		

②

その4	イベント名称	引越し	80	無効: 指定したリスト上のアイテムを入力してください
	イベント金額		35	
	イベント開始年齢		35	
	イベント終了年齢		1年毎	
	イベントサイクル			イベント

③

イベント	60	60
帰省	20	20
レジャー	30	30
家具家電	10	10
引越し		
イベント追加		

毎年や、特定の期間発生する支出等を【イベント】欄を使って入力します。

ここで入力する年齢は、本人の年齢で入力してください。

「イベント名称」をプルダウンで選ぶと「帰省・レジャー・家具家電・その他」が出てきますので、該当するものがある場合には選択して入力していきましょう。

年間にかかる金額とその金額がかかる期間を「開始年齢」「終了年齢」へ入力していきます。毎年のは「イベントサイクル」1年毎と入力し、何年かに1回だけ発生するものは、5年や10年等のサイクルを入力します。

①その年だけの単発のイベントは、開始年齢も終了年齢も、そのイベントが発生する同じ年齢を入力します。

プルダウンにない名称を入れたい場合には、そのまま手打ちで入力することもできます。

(②手打ちで入力した場合「無効：指定したリスト上のアイテムを入力してください」というエラーメッセージが出てしまいますが、気にせずそのまま大丈夫です。)

ここで選択もしくは入力したイベント名は、③自動的にCF表にも反映します。

⑧車

車について

■ 1台目自動車	ガソリン代	15,000	円/月
①	① 駐車場代	15,000	円/月
	自動車税	4.4	万円
	次回車検	3	年後
	車検代	20	万円
	自動車保険	10	万円/年
④	④ 購入時期		年後

②

+E1182-18							
A	B	C	D	E	F	G	H
			保険合計	457	57	57	57
			車維持費合計	32	50	50	420
			自動車維持費①	32	50	50	70
			自動車維持費②				

			③	457	57	57
			車維持費合計	32	32	50
			自動車維持費①	32	32	50
			自動車維持費②			

⑤	自動車ローン残高		万円
	残り期間		年
	ローン返済額		万円/年

	買い替え希望時期	3	年後
	購入予定金額	350	万円
	買い替えサイクル	10	年毎
⑥	⑥ 車保有終了年齢	80	歳

*保有終了年齢には寿命の表式が入っていますが変更可能です

同じような維持費が続くお車を買って替えて保有していく場合、何年後にいくらの車を購入して、その車を何年サイクルで買い替えていくのかを入力します。最後にこの車の買い替えをストップする年齢⑥「車保有終了年齢」を入力すると、その年齢までCF表への反映が終了します。

もし維持費や本体価格が大きく異なる車に買い替える場合には、（軽自動車→ファミリーカーへの買い替え等）買い替えるまでの年齢を「車保有終了年齢」に入力し、新しい車は別の自動車の欄を使用して入力しましょう。

年齢		U	V	W	X	Y	Z	AA	AB
	ご本人様	38	39	40	41	42	43	44	
	配偶者様	36	37	38	39	40	41	42	
	第1子様	8	9	10	11	12	13	14	
	第2子様	4	5	6	7	8	9	10	
	保険合計	57	57	57	57	57	57	57	57
	車維持費合計	70	292	112	92	112	92	70	
	自動車維持費①	70	50	70	50	70	50	70	
	自動車①		242	42	42	42	42	42	
	自動車②								

4台分自動車の情報の入力ができます。複数台所有の場合も、1台ずつそれぞれの情報を入力するようにしてください。

バイク等の費用が掛かっている場合も車の欄を使用してください。

ガソリン代等の情報を上から順番にヒアリングして入力していきます。

①駐車場代については、現在賃貸で、住宅の情報入力の際に家賃に含んで駐車場代を入力している場合には、ここでの入力不要です。また、転居等によって途中から金額が変更になるような場合には、長い期間かかる金額を優先して入力しておき、CF表で短い期間分編集してしまう方法がおすすめです。（左図例の場合住宅購入前の駐車代は家賃に含んでいるため、賃貸の期間のみ年間の駐車代18万円を引く数式を入力します。2年間は賃貸なので、2年目まで式をコピーします。3年目からは①で入力した駐車代が反映されています。）

④「購入時期」欄は、現在は車なしの人が将来的に保有する場合に使用する欄です。すでに車を保有している場合には、入力する必要はありません。

⑤この車をローンで購入している場合にはローン入力欄を使用します。ローンがなければ入力不要です。ローンは「残り期間」「ローン返済額/年」を入力すればCF表に反映します。ローン残高は入力してもしなくても影響ありません。

お車購入の金額は、未来の購入については基本的に一括購入前提でCF表に反映されます。もしも未来の購入に関しても自動車ローンを利用した状態にしたい場合には、直接CF表に毎年のローン返済額を手入力してください。その際、金利も加味して入力しておくことをお勧めします。

例) 7年後に400万円の車を頭金200万円+5年のローン（年利5%）で購入する場合には、⑦左図のような数字をCF表へ直接打ち込んでください。

複数台保有している場合や、将来複数台になる予定の場合には、2台目～4台目の欄を使用して情報を入力していきます。

「車保有終了年齢」に入力する年齢は、本人の年齢で反映されます。配偶者所有のお車については、配偶者が終了する年齢が本人年齢で何歳になるのか確認の上本人の年齢を入力してください。

複数台保有している家庭が、途中から1台の保有に減らす場合には、やめる車がどの車か確認の上「車保有終了年齢」を入力するようにしましょう。

⑨保険～保障の入力

20ポリシー分の入力が可能です。可能であれば細かく一つずつ入力していきましょう。時間があまりない場合や、お客様が保険の内容をあまり把握されていない場合には、ざっくりとまとめて月の保険料等を入れるなどして臨機応変に対応ください。

これまでの項目の年齢欄に関しては、基本的に本人の年齢でCF表に反映していましたが、保険の欄は「被保険者」の年齢でCF表に反映します。「契約者」と「被保険者」が別の場合も途中解約や死亡保険金等は「被保険者」の年齢でCF表に反映します。ただし、被保険者が「本人」「配偶者」以外の場合には、契約者の年齢での反映になりますのでご注意ください。

①	保険会社	〇〇生命
	保険タイプ	終身保険
	契約者	配偶者 ▾
②	被保険者	配偶者 ▾
	保険料	7.5 万円/年
	支払期間	65 歳まで
	保障期間	88 歳まで
③	死亡保険金	350 万円
	解約返戻金、年金受取額	万円
	受け取りタイプ	▾
④	支払い開始年齢	歳
	支払い終了年齢	歳
	一括受け取り年齢	歳

	保険会社	〇〇生命
	保険タイプ	養老保険
	契約者	本人 ▾
	被保険者	本人 ▾
	保険料	14.4 万円/年
	支払期間	60 歳まで
	保障期間	60 歳まで
	死亡保険金	3,000 万円
⑤	解約返戻金、年金受取額	500 万円
	受け取りタイプ	一括 ▾
	支払い開始年齢	歳
	支払い終了年齢	歳
	一括受け取り年齢	61 歳

終身保険・養老保険について

①「保険会社」「保険タイプ」は入力しなくてもCFには影響ありませんが、どの商品の情報なのかしっかりと把握できる状態にするためにも記入しておくことをお勧めします。

②「契約者」「被保険者」「保険料」「支払期間」この4つの項目は入力がないとCF表に反映しなくなってしまうので、必ず入力しましょう。「支払期間」や「保障期間」が終身の場合には、寿命で設定した年齢を必ず入れましょう。寿命で設定した年齢よりも大きな数を入れると、死亡後にも保険料が発生してしまいます。

③「死亡保険金」に入れた金額は、寿命を迎えた年齢でCF表に反映しますが、途中で解約して返戻金を受け取る設定にした場合などは、保険金は反映しない仕様となります。

もし貯蓄替わりの終身保険で、払込額より解約返戻金を上回ったら解約する予定という商品で、CF表にも解約返戻金の額を反映させたい場合には、④「解約返戻金、年金受取額」の欄に予想される解約返戻金の額を入力します。「受け取りタイプ」をプルダウンから「一括」で選択し、「一括受け取り年齢」に受け取りたい年齢を入力します。こうすることにより指定した年齢で解約返戻金の額が反映しますが、死亡時には死亡保険金の額は反映されません。（解約せず終身で持ち続ける場合には、④の入力は不要です）

⑤養老保険は保障期間が満期を迎えると、満期保険金が受け取れる保険であるため、満期に受け取れる金額を「解約返戻金、年金受取額」の欄に入力します。「受け取りタイプ」をプルダウンから選択し、満期を迎える年齢を「一括受け取り年齢」に入力しましょう。

⑨保険～医療・がん保険の入力

①	保険会社	〇〇生命	②	保険会社	〇〇生命	③	保険会社	〇〇生命
	保険タイプ	医療保険		保険タイプ	がん保険		保険タイプ	医療保険
	契約者	本人		契約者	配偶者		契約者	本人
	被保険者	本人		被保険者	配偶者		被保険者	本人
	保険料	6.0 万円/年		保険料	7.2 万円/年		保険料	5.0 万円/年
	支払期間	60 歳まで		支払期間	100 歳まで		支払期間	65 歳まで
	保障期間	100 歳まで		保障期間	100 歳まで		保障期間	100 歳まで
	死亡保険金	万円		死亡保険金	万円		死亡保険金	500 万円
④	解約返戻金、年金受取額	万円		解約返戻金、年金受取額	万円		解約返戻金、年金受取額	万円
	受け取りタイプ			受け取りタイプ			受け取りタイプ	
	支払い開始年齢	歳		支払い開始年齢	歳		支払い開始年齢	歳
	支払い終了年齢	歳		支払い終了年齢	歳		支払い終了年齢	歳
	一括受け取り年齢	歳		一括受け取り年齢	歳		一括受け取り年齢	歳

医療保険は基本的に掛け捨てタイプが多いので、①「契約者」「被保険者」「保険料」「支払期間」をしっかりと入力するようにしましょう。

②契約者が「配偶者」になる場合には、支払期間は配偶者の年齢まで反映します。

③契約者と被保険者が異なる場合には、「支払期間」に関しては被保険者の該当年齢までの反映、「死亡保険金」に関しては、被保険者の死亡年齢に反映をします。

医療系の保険にも、健康祝い金等払い込んだ金額が戻ってくるタイプの保険も多くありますが、それらは健康だった場合という条件が必要になります。戻ってこない可能性もありますので、CF表には健康だったら戻ってくる金額に関しては、反映させないことをお勧めします。どうしてもそれも反映させたい場合、1回のみであれば④の「解約返戻金、年金受取額」に受け取り予想額を入力し、「一括受け取り年齢」を入力すればその年齢で反映させることが出来ます。（死亡保険付きの場合死亡保険が反映しなくなるので注意）ただ、〇年に1回いくらなどは設定が出来ませんので、CF表に直接手入力に対応してください。

⑨保険～収入保障保険・定期保険の入力

保険会社	〇〇生命	
保険タイプ	収入保障保険	
契約者	本人	▼
被保険者	本人	▼
保険料	7.2	万円/年
支払期間	65	歳まで
保障期間	65	歳まで
① 死亡保険金	5,000	万円
解約返戻金、年金受取額		万円
受け取りタイプ		▼
支払い開始年齢		歳
支払い終了年齢		歳
一括受け取り年齢		歳

②

月15万

収入保障保険の場合、死亡保険金は年齢とともに変わってきます。通常は寿命を迎えるころには保障が終わっているため、「死亡保険金」は入力はしてもしなくてもCF表に影響はありません。（反映しません）

情報として、①今亡くなった場合の死亡保険金（受け取り月額×残り期間）を入力しておく、②欄外に月の受取額をメモしておくなどの対応がおすすめです。

①の死亡保険金を入力しないと、万一シートの現在保有の死亡保険金の額に反映しません。

保険会社	〇〇生命	
保険タイプ	定期保険	
契約者	本人	▼
被保険者	本人	▼
① 保険料	14.4	万円/年
① 支払期間	60	歳まで
保障期間	60	歳まで
② 死亡保険金	5,000	万円
解約返戻金、年金受取額		万円
受け取りタイプ		▼
支払い開始年齢		歳
支払い終了年齢		歳
一括受け取り年齢		歳

定期保険は一般的に掛け捨てタイプになりますので、①「保険料」「支払期間」をしっかり入力すればCF表に反映します。②「死亡保険金」は保障期間が寿命より早い場合には反映しません。

⑨保険～個人年金保険・変額保険の入力

保険会社	〇〇生命	
保険タイプ	年金保険	
契約者	配偶者 ▾	
被保険者	配偶者 ▾	
保険料	12.0	万円/年
支払期間	60	歳まで
保障期間		歳まで
死亡保険金		万円
① 解約返戻金、年金受取額	40	万円
受け取りタイプ	定期的 ▾	
支払い開始年齢	61	歳
支払い終了年齢	70	歳
一括受け取り年齢		歳

個人年金保険は、「支払期間」と受け取りの期間についてしっかりと入力しましょう。①「年金受取額」には、年間の受け取り金額を入力します。この金額が現状では確定していない場合は、おおよその予想金額を入力します。「受け取りタイプ」を一括か定期的かプルダウンで選択し、一括の場合には「一括受け取り年齢」を入力し、定期的の場合には、「支払い開始年齢」と「支払い終了年齢」を必ず入力しましょう。

例えば10年間受け取り期間がある場合、65歳～75歳とするとCF表に11年間反映してしまうので、正しく10年間の受け取りになるよう年齢を確認してください。

保障期間付終身年金タイプのものなどは、「支払い終了年齢」を寿命の年齢にしましょう。

保険会社	〇〇生命	
保険タイプ	変額保険	
契約者	本人 ▾	
被保険者	本人 ▾	
保険料	24.0	万円/年
支払期間	70	歳まで
保障期間	70	歳まで
死亡保険金	1,500	万円
解約返戻金、年金受取額	1,500	万円
受け取りタイプ	一括 ▾	
支払い開始年齢		歳
支払い終了年齢		歳
一括受け取り年齢	70	歳

変額保険は、その商品の内容によって「支払期間」「保障期間」等情報を入力してください。

満期で受け取りが発生する場合や、満期を迎える前に解約返戻金を受け取りたい場合には、「受け取りタイプ」を一括にして、「解約返戻金」にそのタイミングで受け取れる予想金額を入力し、「一括受け取り年齢」に満期・解約予定の年齢を入力しましょう。現金化した場合には、死亡保険金の支払いはCF表には反映しなくなります。「死亡保険金」に入力した金額は、解約や満期によって受け取りがなく、終身タイプのものの場合のみ、寿命の年齢に反映します。

年金受け取りの場合には、「年金受取額」には年間の受取額を入力します。「受け取りタイプ」で定期的を選択し、「支払い開始年齢」と「支払い終了年齢」を入力しましょう。

契約内容の支払期間よりも早く解約する想定の場合、「支払期間」の年齢を解約予定年齢にしておかないと支払い期間が続いてしまうので注意が必要です。

⑨保険～更新型の保険の入力

更新型の保険の場合、更新後には保険料が増額されるか、保障内容を精査して金額を変わないようにするか、更新のタイミングで商品を見直す等いろいろな選択肢があります。

保険料の金額の変更がない場合

保険会社	〇〇生命
保険タイプ	複合型保険
契約者	本人
被保険者	本人
保険料	15.0 万円/年
支払期間	80 歳まで
保障期間	80 歳まで
死亡保険金	3,000 万円
解約返戻金、年金受取額	万円
受け取りタイプ	
支払い開始年齢	歳
支払い終了年齢	歳
一括受け取り年齢	歳

保険料の金額の変更がなければ、ずっと同じ金額を反映させればいいので、この商品を持ち続けるであろう年齢まで支払期間を設定するだけで大丈夫です。

ただ「死亡保険金」は保障内容を変更すると変わってしまいますので、参考までに今の内容の死亡保険金を入力してある状態という認識を忘れないようにしましょう。寿命まで契約を継続する場合には、寿命時の契約の死亡保険金の額を予想して入れておきましょう。

年齢とともに保険料が上がっていく設定

保険会社	〇〇生命
保険タイプ	複合型保険
契約者	本人
被保険者	本人
保険料	15.0 万円/年
支払期間	39 歳まで
保障期間	39 歳まで
死亡保険金	3,000 万円
解約返戻金、年金受取額	万円
受け取りタイプ	
支払い開始年齢	歳
支払い終了年齢	歳
一括受け取り年齢	歳

保険会社	〇〇生命
保険タイプ	複合型保険2
契約者	本人
被保険者	本人
保険料	30.0 万円/年
支払期間	49 歳まで
保障期間	49 歳まで
死亡保険金	3,000 万円
解約返戻金、年金受取額	万円
受け取りタイプ	
支払い開始年齢	歳
支払い終了年齢	歳
一括受け取り年齢	歳

内容を変更せずに年齢とともに保険料が上がっていく設定にしたい場合には、更新のタイミング毎に別の商品として登録してしまう方法があります。（上記例は10年後に保険料が上がっている設定）ただ、この場合は現在から「支払期間」に入力した年齢までずっと保険料が入ってしまうので、更新前に反映してしまっている保険料については、CF上で削除する必要があります。

西暦		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039
経過年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
年齢	ご本人様	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
	配偶者様	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	第1子様	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	第2子様	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ライフイベント	ライフイベント一覧															
	教育費合計	62	62	89	92	103	97	88	98	109	109	255	335	288	298	403
	借入金返済															
	保険合計	45	45	45	45	45	45	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	①	15	15	15	15	15	15									
	②	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
③																
	保険合計	15	15	15	15	15	15	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	①	15	15	15	15	15	15									
	②	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	③															

～更新時の上昇をCF上で数式で入れてしまう方法

保険会社	〇〇生命
保険タイプ	複合型保険
契約者	本人
被保険者	本人
保険料	15.0 万円/年
① 支払期間	80 歳まで
保障期間	80 歳まで
死亡保険金	3,000 万円
解約返戻金、年金受取額	万円
受け取りタイプ	
支払い開始年齢	歳
支払い終了年齢	歳
一括受け取り年齢	歳

①この商品を持ち続けるであろう年齢まで支払期間を設定します。

このままだと終了時までずっと同じ保険料になってしまいますので、CF上で編集を加えます。保険料を上昇させた年齢のところを上昇の数式を追加します。

この場合は保険料が2倍になる想定で「×2」を入力追加しています。

②

作成日		2025/1/30		物件金額		8800万円		ローン金	
				諸費用		570万円		頭金	
西暦		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
経過年数		1	2	3	4	5	6	7	
年齢	ご本人様	34	35	36	37	38	39	40	
	配偶者様	31	32	33	34	35	36	37	
	第1子様	3	4	5	6	7	8	9	
	第2子様	1	2	3	4	5	6	7	
ライフイベン	ライフイベント一覧								
	イベント	62	62	242	62	62	62	62	
	教育費合計	62	62	89	92	103	97	88	
	借入金返済								
	保険合計	15	15	15	15	15	15	15	②
	①	15	15	15	15	15	15	15	

③変更したセルの数式を該当の期間分コピーして反映させます。

それ以降の期間も更新が続くようであれば、元の保険料よりどれくらい上がるかを検討し倍数などの数式を入れて対応します。

保険合計	15	15	15	15	15	15	15	15	15
①	15	15	15	15	15	15	15	15	15
②									

⑨保険～一時払い保険の入力

西暦		2025	2026	2027	2
経過年数		1	2	3	
年齢	ご本人様	34	35	36	
	配偶者様	31	32	33	
	第1子様	3	4	5	
	第2子様	1	2	3	
ライフイベン	ライフイベント一覧				
	イベント	62	62	242	
	教育費合計	62	62	89	
	借入金返済				
	保険合計	1000	1000	1000	
	①	1000	1000	1000	

保険合計			1000	
①			1000	

一時払いは単発の支払いになりますので、「支払期間」には現在の年齢を入力します。すると今年「保険料」に入力した一時払いの保険料を支払った状況になります。(すでに支払い済みの場合は保険料を入力する必要はありません)

もし数年後に一時払い保険を始める場合には、「支払期間」に始める年齢を入力してください。この状況ですが、現在からその年齢まで毎年「保険料」に入力した金額を支払ったように反映してしまうので、①CF表上で不要な支払い額を削除します。

毎年年金がもらえる商品や、一定期間経過後に解約して現金化する想定でのご契約の場合には②の「解約返戻金・年金受取額」「受け取りタイプ」「支払い開始年齢」「支払い終了年齢」「一括受け取り年齢」の入力で設定します。

保険会社	〇〇生命
保険タイプ	一時払終身
契約者	本人 ▾
被保険者	本人 ▾
保険料	1,000.0 万円/年
支払期間	36 歳まで
保障期間	100 歳まで
死亡保険金	3,500 万円
解約返戻金、年金受取額	万円
受け取りタイプ	<input checked="" type="checkbox"/>
② 支払い開始年齢	歳
支払い終了年齢	歳
一括受け取り年齢	歳

年金受取の場合の入力例

保険会社	〇〇生命
保険タイプ	一時払終身
契約者	本人 ▾
被保険者	本人 ▾
保険料	1,000.0 万円/年
支払期間	36 歳まで
保障期間	100 歳まで
死亡保険金	1,000 万円
解約返戻金、年金受取額	30 万円
受け取りタイプ	定期的 ▾
支払い開始年齢	37 歳
支払い終了年齢	100 歳
一括受け取り年齢	歳

毎年30万円の支払金を受け取れる内容です。積立利率の見直しなどの設定は出来ませんので、受取額を途中から変えたい場合はCF上で直接入力でご対応ください。

仕様上途中で支払金などを受け取ると寿命のタイミングでの死亡保険金が反映されなくなってしまいますので、死亡時の給付金はCF上に手打ちで入力してください。

解約返戻金を30年後受取の場合の入力例

保険会社	〇〇生命	
保険タイプ	一時払終身	
契約者	本人 ▾	
被保険者	本人 ▾	
保険料	1,000.0	万円/年
支払期間	36	歳まで
保障期間	100	歳まで
死亡保険金	3,500	万円
解約返戻金、年金受取額	2,000	万円
受け取りタイプ	一括 ▾	
支払い開始年齢		歳
支払い終了年齢		歳
一括受け取り年齢	66	歳

30年後に解約をして返戻金を一括で受け取る設定です。解約するので死亡保険金は、寿命を迎えても反映されません。

外貨建ての商品は、基準のレートを決めていただき、円に変換した状態で入力してください。
CF上はすべて円になりますので、為替リスク等は別途しっかりとご説明ください。

⑨保険～学資保険の入力

保険会社	〇〇生命
保険タイプ	学資保険
契約者	本人 ▾
被保険者	お子様 ▾
保険料	14.4 万円/年
支払期間	49 歳まで
保障期間	49 歳まで
死亡保険金	500 万円
解約返戻金、年金受取額	270 万円
受け取りタイプ	一括 ▾
支払い開始年齢	歳
支払い終了年齢	歳
一括受け取り年齢	49 歳

被保険者がお子様になる場合の学資保険は、設定する年齢を契約者の年齢で入力する必要がありますので、ご注意ください。

「支払期間」や「一括受け取り年齢」は契約者の年齢で入力するようにしてください。

左記の場合はお子様が18歳のタイミングで満期保険金が受け取れるタイプで、お子様18歳時に契約者の年齢は49歳となる為、49歳で入力しています。このときにお子様の年齢（18歳）で入力してしまうと、保険金の受け取りが反映しませんので、注意が必要です。

西暦		2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043
経過年数		12	13	14	15	16	17	18	19
年齢	ご本人様	47	48	49	50	51	52	53	54
	配偶者様	39	40	41	42	43	44	45	46
	第1子様	16	17	18	19	20	21	22	23
	第2子様	14	15	16	17	18	19	20	21
ライフイベント	ライフイベント一覧								
	保険収入合計			100	50	30	30	30	
	①		③	100	50	30	30	30	
	②								

数年にわたって毎年違う金額を受け取るなどの場合は、CF表の該当の年に受取金額を直接打ち込んでください。（情報シートの受け取り年齢は空欄にする）受け取りが始まる①契約者の年齢（②お子様の年齢）のタイミングで、収入の保険収入欄にそれぞれの年の受け取り額を手打ちで打ち込みます。

⑩借入れ

住宅ローン・車のローン以外のローンがある場合、【借入れ】の項目を使用します。

奨学金・カードのローン・太陽光パネルのローン・両親への返済等が考えられますが、お客様もパッと出てこないこともありますので、例えばこんなものありませんかなどと例として伝えて差し上げると漏れ防止になります。4つの借入金を入力できるようになっています。

名称	奨学金	
残高	120.0	万円
残年数	5	年
支払額	24	万円/年

借入金返済	24	24	24	24	24
奨学金	24	24	24	24	24

「残年数」「支払額」の入力があればCF表に反映します。逆に「残高」を入力してあっても「残年数」「支払額」が入っていないと反映しませんので気を付けましょう。

CF表へ反映されるのは、残額ぴったりに調整されるわけではなく「支払額」の金額が「残年数」の間入りますので、もし最後の年は丸一年の支払いにはならず途中で支払終了するようでしたら、CF表に直接手打ちで最終年は編集してください。

⑪年金情報

① (本人)年金受給開始年齢	65	歳
(配偶者)年金受給開始年齢	65	歳

② ※50歳以上で金額確定している場合の入力欄		
(本人)年金受給額		万円
(配偶者)年金受給額		万円

③ ※50歳未満で金額確定していない場合の入力欄		
本人の厚生年金加入歴(～70歳まで)	42	年
厚生年金加入時の平均年収	730	万円
国民年金加入歴(自営、学生、主婦、無職)		年
※扶養に入っている期間は国民年金加入歴として計上		
配偶者の厚生年金加入歴(～70歳まで)	38	年
厚生年金加入時の平均年収	350	万円
国民年金加入歴(自営、学生、主婦、無職)	2	年
※扶養に入っている期間は国民年金加入歴として計上		

④ 繰上繰下	(本人)繰上げ受給月数		ヵ月
	(本人)繰下げ受給月数		ヵ月
	(配偶者)繰上げ受給月数		ヵ月
	(配偶者)繰下げ受給月数		ヵ月

①年金開始年齢は必ず入力してください。ここを空欄にすると、CF表の最初から最後まですべてに年金受給額が入ってしまいます。

50歳以上で、年金定期便等で65歳で受け取る年金額の予想額がわかっている場合には、②へ直接受給額の年額を入力します。

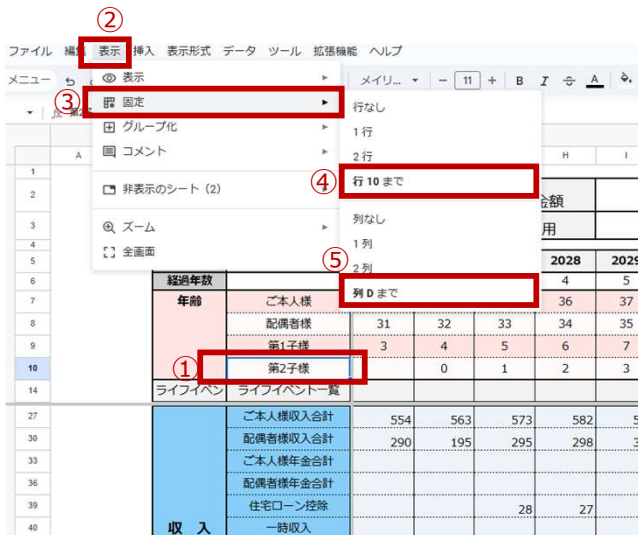
50歳以下でまだ年金受給額が不明の若い方の場合には、③生涯の平均年収からざっくりした年金受給額を算出します。会社員の方は厚生年金を支払う年数を「本人（配偶者）の厚生年金加入歴」に入力します。厚生年金加入期間の全期間の平均年収を「厚生年金加入時の平均年収」に入力します。学生の間や会社員以外の仕事をしていた期間などで、国民年金のみ加入の期間がある場合には「国民年金加入歴」に年数を入力します。

配偶者の扶養に入っていた期間は、「国民年金加入歴」として年数を入力してください。また、自営業や個人事業主など厚生年金ではなく国民年金をずっと払っている方は、「国民年金加入歴」のみ入力してください。

「繰り上げ受給」「繰り下げ受給」の減額や割り増しを反映させたい場合には、④に何か月分反映させるかを入力してください。このとき、受給開始年齢が変更になるはずですので①の「受給開始年齢」を一緒に変更することを忘れないようにしましょう。

【4】キャッシュフロー表の整え方（見せ方）

ウィンドウ枠の固定



CF表の家族の年齢欄と収入支出の項目欄は上下・左右にスクロールしても固定で見えているとお客様に説明がしやすいです。

①選択したセルの右側と下側で固定することが出来るので、固定したい位置のセルを選択します。

②「表示」→③「固定」→④固定したい行を選択します。行を選択すると一度選択項目が消えてしまうので、列の固定のために再度②「表示」→③「固定」を選び今度は⑤固定したい列を選択します。

西暦		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
経過年数		1	2	3	4	5	6	7
年齢	ご本人様	33	34	35	36	37	38	39
	配偶者様	31	32	33	34	35	36	37
	第1子様	3	4	5	6	7	8	9
	第2子様	0	1	2	3	4	5	6
ライフイベント	ライフイベント一覧							
収入	ご本人様収入合計	554	563	573	582	592	601	610
	配偶者様収入合計	290	195	295	298	300	303	305
	ご本人様年金合計							
	配偶者様年金合計							
	住宅ローン控除			28	27	27	27	26
	一時収入							

上記作業を行うことによって、縦横にスクロールしても見せておきたい行列はそのまま残すことが出来、〇歳の時、この項目はこうなっているという状態をわかり易く見せることが可能になります。

必ず使う機能なので覚えてしまいましょう。

グループの折りたたみと展開

西暦		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	
5	経過年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
6	年齢	ご本人様	33	34	35	36	37	38	39	40	41
7		配偶者様	31	32	33	34	35	36	37	38	39
8		第1子様	3	4	5	6	7	8	9	10	11
9		第2子様		0	1	2	3	4	5	6	7
10		第3子様									
11		第4子様									
12	第5子様										
13	ライフイベン	ライフイベント一覧									
14	収入	ご本人様収入合計	554	563	573	582	592	601	610	620	629
15		ご本人様収入	554	563	573	582	592	601	610	620	629
16		ご本人様退職金									
17		配偶者様収入合計	290	195	295	298	300	303	305	308	310
18		配偶者様収入	290	195	295	298	300	303	305	308	310
19		配偶者様退職金									
20		ご本人様年金合計									
21		ご本人様年金									
22		配偶者様年金合計									
23		配偶者様年金									
24	配偶者様個人年金										

スプレッドシートの欄外にある① + - のボタンをクリックすると、行を表示させたり非表示にさせたり、CF表の見え方を変更することが出来ます。

CF表の項目は、②色の濃いところがその項目の合計値となり、色の薄いところは、その項目の詳細内容となっています。すべての項目詳細まで全部見える状態にすると、見辛くなってしまいますので、合計値だけを見たい場合には、①の-ボタンで非表示にすることが出来ます。

+ボタンをクリック→展開され詳細が表示される

-ボタンをクリック→折りたたまれ合計値のみ表示に切り替わる

③ このあたりの欄外で右クリック

④

すべての行グループを展開
すべての行グループを折りたたむ
[+] / [-] ボタンを上に移動

⑤

一つ一つ+ - のボタンをクリックして切り替えていくのが面倒な場合には、③欄外で右クリックすると④すべてを一気に展開したり折りたたんだり選択することが出来ます。

合計値のみを見せることによって、CF表がシンプルに見やすい情報のみの表示になります。画像では「すべての行グループを折りたたむ」の状態にしたので、⑤欄外のボタンがすべて「+」になっているのがわかります。

相談内容によって、住宅購入の相談であれば、「住宅関連費用」の項目だけは詳細も展開して見える状態にするとか、保険の相談であれば「保険」の項目だけは展開するなど、状況によって使い分けてください。

列の非表示

AIライフナビは、今後の人生現在から80年後までCF表を作成できる仕様になっています。しかしながら、現在の年齢にもよりますが、ご相談者の大半が現在から80年後にはすでに寿命を迎えていると想定されます。80年後よりも前に亡くなっている場合、亡くなった後のCF表は不要な部分です。不要部分が見えていると見づらいCF表になってしまうので、不要部分は見えない形にしましょう。

画像の例では、配偶者100歳でこのご夫婦の人生は終わりとなります。配偶者101歳から先の合計値の前までは不要な列になります。不要な列を非表示にしておくで見やすくなります。

作成日	2025/3/6														
項目	2080	2081	2082	2083	2084	2085	2086	2087	2088	2089	2090	2091	2092	2093	合計
年齢	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	
ご本人様	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	
配偶者様	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	
第1子様	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	
第2子様	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	

非表示にしたい列（画像ではBW～CF列）を選択するために、①列名（BW）の上でマウスのボタンを押し続けながらカーソルを移動させ、目的の終点（CF）まで移動させます。右クリックすると操作の選択ができるようになるので②「列BW-CFを非表示」を選択します。

すると不要な列が非表示になり、このお客様の必要な年齢までの表示に変更することが出来ました。

作成日	2025/3/6														
項目	2080	2081	2082	2083	2084	2085	2086	2087	2088	2089	2090	2091	2092	2093	合計
ご本人様	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	
配偶者様	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	
第1子様	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	
第2子様	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	

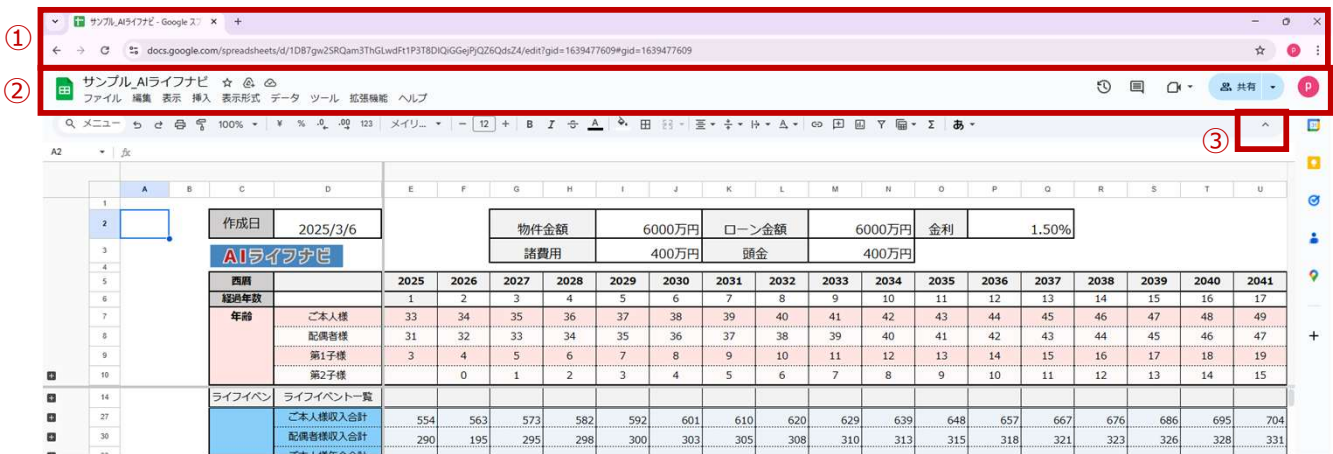
項目	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	2076	2077	2078	2079	2080	2081	2082	合計
ご本人様	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	
配偶者様	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	
第1子様	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	
第2子様	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	

この時最後の③「合計」欄は必要な情報なので非表示にしないように気を付けてください。

また、②では必ず「非表示」を選ぶようにしてください。万が一「削除」を選んでしまうと、スプレッドシートの数式が壊れてしまい、正常の動作なくなってしまいます。

全画面表示

開いているWEBページのタブや、お気に入りなどに入れているものなどが表示されている状態だと、お客様に全部見えてしまう状態になります。またCF表の見せられる範囲も少なくなってしまうため、不要な部分は表示されないように全画面に設定してお見せるといいでしょう



PCの機種にもよりますが、下記作業のいずれかで①の部分を表示させず全画面に切り替えられることが多いです。

「F11キーのみを押す」または「F11キー+Fnキー」を押す。

この操作で余計な部分が表示されず、画面を大きく使用することが出来ます。

また③の矢印をクリックすると②タイトル欄等の表示も非表示にすることができ、さらに大きな画面でご案内出来るようになります。

【5】収支チェック

収支のチェック

収支チェック表

項目	1年間の収入		1年間の支出	
	毎月	年額	毎月	年額
収入				
基本給	400,000	4,800,000		
賞与	300,000	3,600,000		
その他の収入	30,000	360,000		
収入合計	730,000	8,760,000		
支出				
家賃	90,000	1,080,000		
光熱費	25,000	300,000		
食費	15,000	180,000		
交通費	60,000	720,000		
雑費	12,000	144,000		
娯楽費	11,113	133,356		
保険料	3,000	36,000		
その他	120,000	1,440,000		
支出合計	336,113	4,033,356		
貯蓄				
毎月貯蓄	400,000	4,800,000		
年額貯蓄	4,800,000	57,600,000		
収入-支出-貯蓄=余剰金	114,471	1,373,652		

① 収入欄の項目
② 支出欄の項目
③ 収入欄の項目
④ 貯蓄欄の項目
⑤ 集計情報が入ります

ヒアリングが完了した状態で、必ず収支のチェックを行ってください。【収支】という名前のシートを使用します。

この作業は、ヒアリングした内容と、現在の収支の状況に乖離がないかの確認になります。もし現実と乖離が大きいままCF表を作ってしまうと、信ぴょう性のないCF表になってしまいます。月や年間の収支の結果が、実際のイメージと離れてないか確認してください。

【情報】シートで入力した毎月の収入と支出の情報が自動で①に反映されています。意識して積み立てている月々の金額が②に反映します。ボーナス等の月々以外の収入、車関係やイベントに入力した支出項目は、月々以外の年間の支出として③に反映します。月々ではないタイミングで意識して貯めているものは④の貯蓄欄に入ります。⑤には集計情報が入ります。

<集計合計>

毎月の収入合計	640,000	7,680,000	毎月以外のボーナス等の収入合計	1,300,000
毎月の貯蓄合計	88,000	1,056,000	毎月以外の支出合計	843,500
毎月の支出合計	437,529	5,250,353	収入-支出-貯蓄=余剰金	456,500
収入-支出-貯蓄=余剰金	114,471	1,373,652		
1年間の収入合計	8,980,000		銀行	900
1年間の貯蓄合計	1,056,000		保険	375
1年間の支出合計	6,093,853		保険料	72
収入-支出-貯蓄=余剰金	1,830,152		総額	1,347

⑥ 収入-支出-貯蓄=余剰金
⑦ 収入-支出-貯蓄=余剰金

毎月の収入から支出と意識して貯めている（積み立てている）貯金額を引くと、余剰金の額⑥が出てきます。同様に年間の余剰金の額⑦も出てきます。

画像の例だと、年間に意識して貯めている金額が1,056,000円、自然に口座に残っている余剰金が1,830,152円なので、合計で288万円ほど貯めることが出来ていることとなります。この結果をもって、お客様に現状と乖離がないかを確認してください。月単位で確認してもいいですが、イベントごとが実際には毎月の支出になっていることもありますので、注意してください。

「もっと貯まってるはずだなあ」→支出を多く入れすぎている可能性があります。

「そんなに貯まってないです」→ほかにも漏れている支出がありそうなので、確認の上追加が必要です。

実際と乖離があった場合には、過不足がどこなのかを改めて確認し、過不足を調整しましょう。

この際、【収支】のシートの数字を編集しても大元の【情報】には連動しませんので、修正する場合には必ず【情報】シートの内容を編集してください。

【6】万ーシートの活用

AIライフナビ

万シート

西暦		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	
経済年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
年齢	ご本人様	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	
	配偶者様	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	
	第1子様	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	第2子様	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
収入	① ご本人様収入合計																		
	配偶者様収入合計	280	185	285	288	200	202	205	208	210	212	215	218	221	222	226	228	231	
	② ご本人様年金合計	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	173	119	119
	配偶者様年金合計																		
	③ 住宅ローン控除			14	13	13	13	12	12	12	11	11	11						
	一時収入																		
	定期収入	36	36																
	保険収入合計																		
児童手当	12	30	30	30	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	
その他収入																			
収入合計	511	434	512	514	510	512	514	517	519	521	523	526	517	520	522	471	461		
支出	④ 生活費	172	176	179	183	186	190	194	198	202	206	210	214	218	223	227	232	236	
	住宅関連費用合計	144	144	138	118	119	119	119	140	120	121	121	122	142	122	123	124	124	
	⑤ 将来購入/住宅ローン②																		
	将来購入/住宅ローン①			73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	
	イベント	60	60	140	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	
	教育費合計	13	13	45	51	69	59	59	67	76	71	212	155	166	170	275	216	270	
	借入金返済	24	24	24	24	24													
	保険合計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
	生活維持費合計	32	32	50	420	50	70	50	70	50	70	50	70	50	420	50	70	50	
	死後の葬儀資金	100																	
その他の支出																			
支出合計	565	469	596	876	528	518	502	554	528	547	673	640	656	1,015	755	721	760		
⑥ 年間収支	-55	-35	-84	-362	-18	-6	12	-38	-9	-26	-150	-115	-138	-485	-233	-250	-288		
残高	1,275万円	1,220	1,185	1,101	739	722	716	728	690	681	656	506	391	252	-243	-476	-726	-1,024	
総収入		18,986	18,475	18,042	17,530	17,016	16,506	15,994	15,479	14,963	14,444	13,923	13,399	12,874	12,356	11,837	11,314	10,843	
総支出		17,566	17,004	16,535	15,939	15,063	14,536	14,017	13,515	12,961	12,433	11,886	11,313	10,772	10,216	9,651	9,076	8,495	
⑦ 必要保障額		-7,308	-7,253	-7,218	-7,134	-6,772	-6,754	-6,749	-6,736	-6,699	-6,690	-6,664	-6,514	-6,399	-6,261	-5,765	-5,533	-5,283	
将来購入/住宅ローン②残高				1,956	1,912	1,867	1,821	1,774	1,727	1,679	1,631	1,581	1,531	1,480	1,429	1,376	1,323	1,269	
繰上返済原費																			
繰上返済後のローン②残高				1,956	1,912	1,867	1,821	1,774	1,727	1,679	1,631	1,581	1,531	1,480	1,429	1,376	1,323	1,269	
現在所有/住宅ローン②残高																			
繰上返済原費																			
繰上返済後のローン②残高																			
ローン合計				1,956	1,912	1,867	1,821	1,774	1,727	1,679	1,631	1,581	1,531	1,480	1,429	1,376	1,323	1,269	

CF表が完成すると、同時に【万ー】【配偶者万ー】というシートも出来上がっています。それぞれに万が一があった場合の必要保障額が自動でわかります。

【万ー】のシートは、本人に万が一があった際のCF表です。以下の条件で元のCFから変更されます。

- ① 本人の収入が全てなくなります。
- ② 本人がなくなった場合の遺族年金のおおよその額が入ります。
- ③ 本人が契約者となっていた分の住宅ローン控除がなくなります。（画像はペアローンの為配偶者分はそのまま）
- ④ 生活費が7掛けに減少しています。
- ⑤ 本人が契約者だった分の住宅ローンが団体信用生命保険が働いてなくなります。

⑥の「総収入額」はこれから先の配偶者の収入+遺族年金等の総額です。対して「総支出」はこれから先のすべての支出の総額です。

「必要保障額」は総収入に現在の貯蓄残高を加えたものから総支出を引いて算出します。今本人に万が一があった場合に必要保障額は⑦になります。

もし前提として本人に万が一があった際、さらにイベント費や車関係の費用など減少させて必要保障額を算出した場合には、直接該当セルに数式を入れる・いらぬものを削除する等、ご自身の判断で編集したうえで必要保障額を出してください。

⑫

176	⑨	現在の保障額	3,700	万円	必要保障額との差額	-3,608	万円
177		改善提案	7,440	万円	必要保障額との差額	132	万円

214	⑧	現在の保険	保険1	保険2	保険3	保険4	保険5	保険6	保険7	保険8	保険9	保険10
215		被保険者	本人	本人	配偶者	配偶者	本人	本人	配偶者			
216		本人死亡保険金額		3000万円			400万円	300万円				
217		現在の保険	保険11	保険12	保険13	保険14	保険15	保険16	保険17	保険18	保険19	保険20
218		被保険者										
219		本人死亡保険金額										

222	⑩	改善提案入力	提案1		提案2	
223		死亡保険金額	1,500	万円	収入保障(月額)	15
224					収入保障保障期間	33
225					収入保障保障額	5,940
226						

223	⑪	提案保障額合計	7,440	万円
-----	---	---------	-------	----

万一のCFの下部には、保険提案に役立つ一覧が用意されています。

【情報】シートで入力した現在加入中の保険情報から、⑧に現在の死亡保障額が自動計算されて入ります。⑨万一のCF表で算出された「必要保障額」に対して、現在契約中の保険はどれくらい差額があるのか、「現在の保障額」の「必要保障額の差額」欄で確認することが出来ます。この数字を参考に、新たに保険の見直しをご提案することをお勧めします。

提案する改善案の内容で必要保障額をカバーできているかどうかは、⑩提案した商品の保障金額を「死亡保険金額」「収入保障保障額」に入力することによって、⑪「提案保障額合計」に金額が入るので、一目瞭然で保障額が足りているか、過剰になりすぎているか等見ることが出来ます。⑨「改善提案」の「必要保障額との差額」がプラスになるように提案するといいでしょ。

「収入保障保障額」は、月に受け取る金額を「収入保障（月額）」にいれて保障期間の年数を「収入保障保障期間」に入れると自動的に計算されます。

もしこの一覧を見せることが、あまり効果的でないような状況の場合には、⑫のプラスマイナスをクリックし簡単に非表示にすることも出来ます。

配偶者万一シート

西暦		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
経過年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
年齢	ご本人様	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
	配偶者様	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	第1子様	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	第2子様		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
収入	ご本人様収入合計	554	563	573	582	592	601	610	620	629	639	648	657	667	676	686	695	704
	① 配偶者様収入合計																	
	ご本人様年金合計																	
	② 配偶者様年金合計	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140
	③ 住宅ローン控除			14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
	一時収入																	
	定期収入	36	36															
	保険収入合計	12	30	30	30	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
児童手当																		
その他収入																		
収入合計		742	770	757	767	770	779	789	798	808	817	826	836	831	841	850	719	716
支出	④ 生活費	172	176	179	183	186	190	194	198	202	206	210	214	218	223	227	232	236
	住宅関連費用合計	144	144	211	192	192	192	193	213	194	195	195	215	196	196	197	197	198
	家賃	144	144															
	将来購入/住宅ローン①			147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147
	⑤ 将来購入/住宅ローン②																	
イベント	60	60	140	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	
教育費合計	13	13	45	51	69	59	59	67	76	71	212	155	166	170	275	216	270	
借入金返済	24	24	24	24	24													
保険合計	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	
車維持費合計				420	50	70	50	70	50	70	50	70	50	70	50	70	50	
死後の整理資金	100																	
その他の支出																		
支出合計		551	454	637	967	619	609	594	645	619	638	764	731	747	1,106	846	812	833
⑥ 年間収支		192	316	120	-200	151	170	195	153	189	179	62	104	84	-266	4	-93	-117
残高	1,275万円	1,467	1,782	1,903	1,703	1,854	2,024	2,219	2,372	2,560	2,739	2,801	2,905	2,989	2,724	2,727	2,635	2,518
総収入		30,248	29,506	28,736	27,979	27,212	26,442	25,663	24,874	24,076	23,268	22,451	21,625	20,789	19,958	19,117	18,267	17,548
総支出		32,042	31,491	31,037	30,401	29,434	28,815	28,205	27,612	26,966	26,347	25,709	24,945	24,213	23,466	22,360	21,514	20,702
必要保障額	⑦	-519	-327	-12														
将来購入/住宅ローン①残高				3,912	3,824	3,733	3,642	3,549	3,454	3,359	3,261	3,163	3,062	2,961	2,857	2,753	2,646	2,538
繰上返済原資																		
繰上返済後のローン①残高				3,912	3,824	3,733	3,642	3,549	3,454	3,359	3,261	3,163	3,062	2,961	2,857	2,753	2,646	2,538
現在所有/住宅ローン①残高																		
繰上返済原資																		
繰上返済後のローン①残高																		
ローン合計				3,912	3,824	3,733	3,642	3,549	3,454	3,359	3,261	3,163	3,062	2,961	2,857	2,753	2,646	2,538

【配偶者万一】のシートは、配偶者に万が一があった際のCF表です。以下の条件で元のCFから変更されます。

- ① 配偶者の収入が全てなくなります。
- ② 配偶者がなくなった場合の遺族年金のおおよその額が入ります。
- ③ 配偶者が契約者となっていた分の住宅ローン控除がなくなります。（画像はペアローンの為本人分はそのまま）
- ④ 生活費が7掛けに減少しています。
- ⑤ 配偶者が契約者だった分の住宅ローンが団体信用生命保険が働いてなくなります。

⑥の「総収入額」はこれから先の配偶者の収入+遺族年金等の総額です。対して「総支出」はこれから先のすべての支出の総額です。

「必要保障額」は総収入に現在の貯蓄残高を加えたものから総支出を引いて算出します。今配偶者に万が一があった場合に必要保障額は⑦になります。

もし前提として配偶者に万が一があった際、さらにイベント費や車関係の費用など減少させて必要保障額を算出したい場合には、直接該当セルに数式を入れる・いらぬものを削除する等、ご自身の判断で編集したうえで必要保障額を出してください。

下部に用意した現在の保障額と必要保障額の差や、改善案の保障額については、【万一】のシートと同様です。

【7】応用機能

- ・住宅ローン繰り上げ返済
- ・生活費変動
- ・投資拠出調整
- ・住宅ローン金利の段階的変更(上級編)
- ・グラフの比較
- ・営業資料ツールの利用
- ・ダウンロード（シートをExcelにする方法）
- ・住宅ローン計算機

住宅ローン繰り上げ返済

住宅ローンを組んでいる方で、途中で繰り上げ返済を検討する方は多いかと思いますが、また、繰り上げ返済による効果がどのくらいあるのかを見たいという方も多いでしょう。

AIライフナビでは、「〇年間支払期間を短縮する（期間短縮型）」というやり方で住宅ローンの繰り上げ設定を反映させることができます。毎月の支払額を減らして期間を変更しない「返済額軽減型」には対応していないのでご了承ください。また、「〇〇万円分繰り上げ返済」という調整はできないため、「何年間短縮」という形の調整となります。

186	含み資産	375
187	総資産	1,275万円
188		
198		
208		
209	ローン合計	

【CF】シート内、188行目と198行目の間には非表示になっているセルがありますので、①プラスボタンを押して非表示になっている部分を開きます。

西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
経過年数	1	2	3	4	5	6	7
年齢	ご本人様	33	34	35	36	37	38
	配偶者様	31	32	33	34	35	36
	第1子様	3	4	5	6	7	8
	第2子様	0	1	2	3	4	5
含み資産	375	492	612	736	864	995	1,131
総資産	1,275万円	1,234	1,524	1,173	995	1,172	1,372
ローン合計							

②ペアの場合ローン1、2それぞれの残高が入った欄が展開されます。

西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042
経過年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
将来購入/住宅ローン①残高			3,912	3,824	3,733	3,642	3,549	3,454	3,359	3,261	3,163	3,062	2,961	2,857	2,753	2,646	2,538	2,428
繰上返済原資																		
繰上返済後のローン①残高			3,912	3,824	3,733	3,642	3,549	3,454	3,359	3,261	3,163	3,062	2,961	2,857	2,753	2,646	2,538	2,428
繰り上げ返済短縮年数																		
将来購入/住宅ローン②残高			1,956	1,912	1,867	1,821	1,774	1,727	1,679	1,631	1,581	1,531	1,480	1,429	1,376	1,323	1,269	1,214
繰上返済原資														561				
繰上返済後のローン②残高			1,956	1,912	1,867	1,821	1,774	1,727	1,679	1,631	1,581	1,531	1,480	867	807	745	682	618
繰り上げ返済短縮年数														10				

画像のように、ローン2の方だけ14年目に繰り上げ返済したい場合には、③「繰り上げ返済短縮年数」に短縮したい年数を入力します。④「繰り上げ返済原資」に自動で短縮した年数分繰り上げ返済した金額（画像の場合561万円）が入ります。

西暦	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055
経過年数	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
年齢	ご本人様	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
	配偶者様	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
	第1子様	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	第2子様	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
住宅関連費用合計	89	831	270	270	271	292	272	273	273	274	295	275	276	277	277	224	205	206
将来購入/住宅ローン①	47	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147
将来購入/住宅ローン②	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73
現在所有/住宅ローン①																		
現在所有/住宅ローン②																		
将来購入/繰上返済①																		
将来購入/繰上返済②																		
現在所有/繰上返済①																		
現在所有/繰上返済②																		

CF表の支出欄の方でも⑤「繰り上げ返済②」の14年目に繰り上げ返済した金額が入ります。また、繰り上げた金額分ローン期間が短くなっているため住宅ローンがローン1より短い期間で終わっている様子⑥を確認することができます。

繰り上げ前の「住宅関連費用」の総合計と繰り上げ後のものを比べるとことにより、繰り上げ返済の効果を見せることができます。

生活費変動

【情報】シートの【生活費上昇率】で設定したもの以外で、生活費の上昇下降を入れたい場合には、211行目の「生活費変動率 (%)」欄を使用します。

例えば単身赴任などで二重生活になるため生活費が一定期間上昇する場合、老後は支出が減りそうだから一定割合下げたい場合、等が予想されます。

西暦	061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	2076	2077	2078	2079	2080		
経過年数	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56		
年齢	ご本人様	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	
	配偶者様	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	
	第1子様	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	
	第2子様	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	
支出	生活費	272	272	272	272	272	231	231	231	231	231	231	231	231	162	162	137	137	137	137		
	住宅関連費用合計	212	86	67	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68		
	イベント	40	40	40	40	40	40	40	10	10	10	10	10	10								
	教育費合計																					
	借入金返済																					
	保険合計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	車維持費合計	50	70	50	70	50	70	50	420	50	70	50	70									
	死後の整理資金														100							
	その他の支出																					
	支出合計	580	474	435	456	436	456	416	736	366	386	366	406	315	415	230	230	226	206	206	206	206
年間収支	-187	39	78	57	36	16	57	-263	107	87	107	67	157	57	109	79	-7	13	13	13	13	
残高	900万円	7,309	7,330	7,407	7,464	7,500	7,517	7,574	7,311	7,418	7,505	7,612	7,680	7,837	7,895	8,004	8,083	8,076	8,089	8,103	8,103	
貯蓄残高	残高-投資系拠出	7,291	7,330	7,407	7,464	7,500	7,517	7,574	7,311	7,418	7,505	7,612	7,680	7,837	7,895	8,004	8,083	8,076	8,089	8,103	8,103	
投資系拠出	18																					
含み資産	375	1,415	1,337	1,258	1,175	1,091	1,003	913	821	725	627	526	422	314	204	90						
総資産	1,275万円	8,706	8,667	8,665	8,639	8,591	8,520	8,487	8,132	8,144	8,132	8,138	8,101	8,151	8,098	8,094	8,083	8,076	8,089	8,103	8,103	
ローン合計																						
生活費変動率 (%)							-15										-15					

画像の例では、本人75歳・85歳のタイミングでそれぞれ15%ずつ生活費が下降するという設定にしています。

「生活費変動率」の該当年齢の欄に、下げたい場合はマイナスをつけて（①この場合-15）と入力すると、②その年の生活費支出が前年の数値から指定の%分変化していることが確認できます。

毎年徐々に上げたい（下げたい）等の場合には、③毎年それぞれの欄に年間の上昇率（下降率）を入れてください。

西暦	061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	2076	2077	2078	2079	2080		
経過年数	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56		
年齢	ご本人様	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	
	配偶者様	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	
	第1子様	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	
	第2子様	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	
支出	生活費	272	272	272	272	269	266	263	261	258	256	253	253	253	177	177	177	177	177	177	177	
	住宅関連費用合計																					
生活費変動率 (%)					-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1											

「生活費変動率 (%)」で変化をつけられるのは、生活費のみになります。インフレを反映させる目的でこちらに上昇率の入力をして生活費以外は何も変わらず、インフレとしての正しい反映とならないためお勧めしません。

AIライフナビでは、生涯を通してインフレは加味しない仕様になっています。インフレは、物価等の上昇にあわせて収入面も同じように上昇していくのが正しい形になります。支出だけがインフレで上昇していく状況は考えづらいです。よって、収入も支出も上昇するのであれば結果は同じであるという考えから、インフレは反映させておりませんのでご了承ください。

投資拠出調整

167	支出合計		944	549	1,206	1,138
168	年間収支		-52	275	-369	-201
169	残高	900万円	848	1,018	543	236
170	貯蓄残高	残高-投資系拠出	742	912	437	131
178	投資系拠出	投資拠出合計	106	106	106	106
186	含み資産	375	492	612	736	864
187	総資産	1,275万円	1,234	1,524	1,173	995

①170行目178行目の横のプラスボタンをクリックすると、投資の詳細欄が展開します。

170	貯蓄残高	残高-投資系拠出	742	912	437	131
171		iDeCo				
172		NISA	60	60	60	60
173		配偶者iDeCo	28	28	28	28
174	投資系拠出	配偶者NISA	18	18	18	18
175		個別株				
176		投資信託				
177		その他				
178	投資系拠出	投資拠出合計	106	106	106	106

展開すると、このように非表示だった部分が表示されます。171～177行目には、それぞれの商品への毎年の拠出額が反映しており、年間の拠出額の合計は②178行目の「投資拠出合計」で確認することができます。

179	iDeCo	180				
180	NISA	245	313	382	454	
181	配偶者iDeCo	120	151	183	216	251
182	配偶者NISA	75	95	116	138	160
183	個別株					
184	投資信託					
185	その他					
186	含み資産	375	492	612	736	864
187	総資産	1,275万円	1,234	1,524	1,173	995

③179～186行目には、④現在の評価額に②毎年の拠出額を足し、さらに【情報】シートの【資産について】の欄で設定した各商品の利率を反映させた、その年の含み資産額が自動で入ります。

通常【情報】シートの【資産について】の欄で設定した「一括取り崩し年齢」や「定期取り崩し」の開始年齢までは拠出が定額で毎年続く状態になります。

一時的に手元に赤字が出てしまう際など、一定期間投資の拠出をストップしたい（運用は続ける）場合などもあるでしょう。また、ストップはしなくても拠出金額を変更したい場合もあると思います。

そのような調整をしたい場合は①直接拠出額を消すか数字を上書きし変更するなどしてください。

拠出額の金額が変わることによって自動的に②その商品の含み益の金額や③総資産の金額などが連動して変更されます。

5	西暦		2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	
6	経過年数		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
7	年齢	ご本人様	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	
8		配偶者様	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	
9		第1子様	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
10		第2子様	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
171	投資系拠出	iDeCo			①														
172		NISA	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	
173		配偶者iDeCo	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
174		配偶者NISA	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
175		個別株																	
176		投資信託																	
177	その他																		
178	投資系拠出	投資系拠出合計	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	
179	含み資産	iDeCo			②														
180		NISA	180	1,297	1,396	1,496	1,603	1,711	1,823	1,937	2,055	2,177	2,302	2,431	2,564	2,701	2,842	2,988	3,137
181		配偶者iDeCo	120	653	700	749	799	851	904	958	1,015	1,073	1,133	1,194	1,258	1,323	1,390	1,459	1,531
182		配偶者NISA	75	421	452	483	516	549	584	619	656	693	732	772	813	856	899	944	991
183		個別株																	
184		投資信託																	
185	その他																		
186	含み資産	375	2,372	2,548	2,730	2,918	3,111	3,310	3,515	3,726	3,943	4,167	4,398	4,635	4,880	5,132	5,391	5,659	
187	総資産	1,275万円	1,909	1,979	2,098	2,500	2,600	2,784	2,959	3,130	3,317	3,514	3,721	3,930	4,144	4,364	4,591	4,824	



5	西暦		2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	
6	経過年数		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
7	年齢	ご本人様	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	
8		配偶者様	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	
9		第1子様	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
10		第2子様	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
171	投資系拠出	iDeCo			①														
172		NISA	60	60	60											60	60	60	
173		配偶者iDeCo	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
174		配偶者NISA	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
175		個別株																	
176		投資信託																	
177	その他																		
178	投資系拠出	投資系拠出合計	106	106	106	46	46	46	46	46	46	46	46	46	106	106	106	106	
179	含み資産	iDeCo			②														
180		NISA	180	1,297	1,396	1,496	1,543	1,590	1,637	1,686	1,737	1,789	1,843	1,898	1,955	2,074	2,196	2,322	2,451
181		配偶者iDeCo	120	653	700	749	799	851	904	958	1,015	1,073	1,133	1,194	1,258	1,323	1,390	1,459	1,531
182		配偶者NISA	75	421	452	483	516	549	584	619	656	693	732	772	813	856	899	944	991
183		個別株																	
184		投資信託																	
185	その他																		
186	含み資産	375	2,372	2,548	2,730	2,858	2,988	3,124	3,264	3,407	3,555	3,707	3,864	4,026	4,252	4,485	4,725	4,973	
187	総資産	1,275万円	1,909	1,979	2,098	2,500	2,598	2,779	2,948	3,112	3,289	3,475	3,663	3,854	4,050	4,252	4,461	4,676	

住宅ローンの段階的変更について（上級編）

住宅ローンの金利を将来的に変更させたい場合には、下記の手順に従って金利の変更をすることが可能です。

住宅ローン予定①	借入金額	4,000万円
	ローン期間	35年
	金利	1.5%
	月々	4,000万円
	ボーナス	0円
	月々支払い	122,474円
	ボーナス支払い	0円

住宅ローン予定②	借入金額	2,000万円
	ローン期間	35年
	金利	1.5%
	月々	2,000万円
	ボーナス	0万円
	月々支払い	61,237円
	ボーナス支払い	0円

住宅ローンの将来を変更させたい場合は、

①段階金利の設定をする にカーソルを合わせると②のような表示が出ますのでそちらをクリックします。

西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
経過年数	1	2	3	4	5	6	7
年齢	ご本人様	33	34	35	36	37	38
	配偶者様	31	32	33	34	35	36
	第1子様	3	4	5	6	7	8
	第2子様	0	1	2	3	4	5
ライフイベント	ライフイベント一覧						
収入	ご本人様収入合計	554	563	573	582	592	601
	配偶者様収入合計	290	195	295	298	300	303
	ご本人様年金合計						
	配偶者様年金合計						
	住宅ローン控除			28	27	27	27
	一時収入						
	定期収入	36	36				
保険収入合計						24	
収入合計	892	824	926	937	943	954	

③のような表示が出た場合は、非表示を解除するをクリックします。

もし③の表示が出ない場合は④へ進んでください。

726							
727							
728							
729							
730							
731							
1263	取得予定住宅ローン①						
1264							
1881							
1882							
1883							
1884							
1885							

④1263行目が表示されますので、その横にある+ボタンをクリックします。

E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

持家住宅ローン①		返済期間	返済回数	ローン残高	金利	繰上①	繰上②	繰上返済額	返済額	計返済額	うち利息
0	0	1	1	0	0.0%			0	0	0	0
0	0	2	2	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	3	3	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	4	4	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	5	5	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	6	6	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	7	7	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	8	8	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	9	9	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	10	10	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	11	11	0.0%	0.0%			0	0	0	0
0	0	12	12	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	1	13	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	2	14	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	3	15	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	4	16	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	5	17	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	6	18	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	7	19	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	8	20	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	9	21	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	10	22	0.0%	0.0%			0	0	0	0
1	1	11	23	0.0%	0.0%			0	0	0	0

クリックすると、非表示になっていた住宅ローンの表が展開されます。

E列～BO列にわたって、持ち家住宅ローン①・②、取得予定住宅ローン①・②の表が存在しています。

⑤それぞれの表に黄色くなっているセルがありますので、そちらに任意の金利を入力すると、住宅ローンを段階的に変更することが出来ます。

グラフの比較

CF表をコピーして、改善案を加えたり条件を変更したりした比較用のCF表を作成した場合、元のCF表との資産の推移の差をグラフで表すことが出来ます。

①コピーして作成したCF表の方の187行目の「総資産」の行全体をクリックして選択します。②その状態で右クリックしてコピーをし、【グラフ】のシートに移ります。

①

186	含み資産	48																			
187	総資産	578万円	658	959	1,255	1,577	1,762	2,044	2,319	2,248	2,543	2,394	2,705	2,992	3,307	3					
188																					

②

メニュー		2025	2026	2027
特殊貼り付け		1	2	3
+ 上に1行挿入	本人様	30	31	32
+ 下に1行挿入	奥様様	29	30	31
行を削除	お子様			
x 行をクリア	イベント一覧	60	60	60
行を非表示	資産合計	60	60	60
単一行のサイズを変更	提出合計	60	60	60
フィルタを作成				
条件付き書式		48	109	173
データの入れ換期		48	109	173
行での他の操作項目を表示	総資産	578万円	658	959

③【グラフ】のシートの61行目の黄色い部分をクリックした状態で、④右クリック→「特殊貼り付け」→「値のみ貼り付け」を選択し値を貼り付けます

③

比較用残高添付用		30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
本人年齢	西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
グラフ貼り付け用																	
※この色のついている行に、比較したいCF表の総資産(187行目)をコピーして貼り付けてください。(値貼り付け)																	

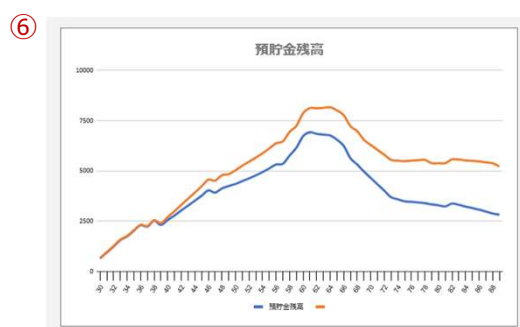
④

メニュー	Ctrl+X	Ctrl+C	Ctrl+V
切り取り	値のみ貼り付け	Ctrl+Shift+V	Ctrl
コピー			
特殊貼り付け			
+ 上に1行挿入			
+ 左に1列挿入			
+ セルを挿入			
本人			
グラフ			
並び			
行を削除			
列を削除			
セルを削除			
テーブルに変換			
フィルタを作成			
セル値でフィルタ			
現在			
住宅			
保有			
改算			

⑤比較したいCF表の結果を貼り付けると⑥のようにもとのグラフの「預貯金残高」に比較したいもののグラフが反映されます。

⑤

比較用残高添付用		30	31	32	33	34	35
本人年齢	西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030
グラフ貼り付け用							
※この色のついている行に、比較したいCF表の総資産(187行目)をコピーして貼り付けてください。							
総資産		578万円	658	959	1,255	1,577	1,762



営業資料ツールの利用

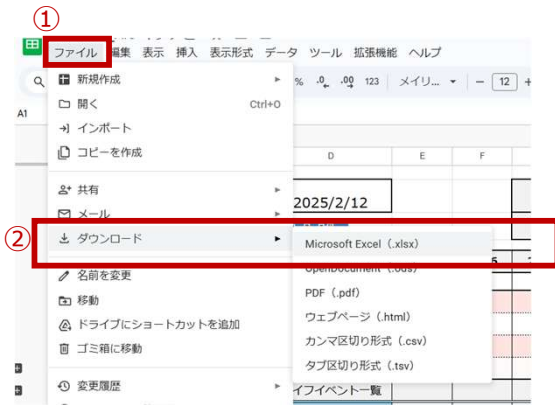
ライフプランの作成をどのようにお客様にお勧めすればいいのかわからない、ライフプランを作りたいと思ってもらうことがなかなか難しいと思っている方のために、動画とPDFの資料を準備しています。

こちらを上手に活用して、まずはキャッシュフロー表を作ってもらおうというステップに進むようにしましょう。

【目次】シートの29行目付近に準備されているので、①動画でそのままご案内できる環境の場合には動画を、店舗等での面談で音が出にくい場合には、②のスライドを利用して、お客様にご案内することをお勧めします。

	②	①
	スライド	動画
29 <ライフプラン検討の方へ>		
31 住宅ローンをご検討のお客様へ	住宅ローンをご検討のお客様へ.pdf	https://youtu.be/DN1t4_I3yuQ
32 投資をご検討のお客様へ	投資をご検討のお客様へ.pdf	https://youtu.be/f1RB4O_41MU
33 保険をご検討のお客様へ	保険をご検討のお客様へ.pdf	https://youtu.be/8JyH_V6ihyQ
34 老後をご検討のお客様へ	老後をご検討のお客様へ.pdf	https://youtu.be/G9ur5wdoY5Q
35 ライフプランの作成をご検討のお客様へ	ライフプラン作成をご検討のお客様へ.pdf	https://youtu.be/VMTjEoq_HhY
36		

ダウンロード（Excel化）



お客様に提供する場合には、スプレッドシートのままではなく、エクセルにダウンロードし、エクセルの状態を提供をお勧めします。

メニューバーの①「ファイル」→「ダウンロード」→「Microsoft Excel」を選ぶとエクセルにダウンロードができます。（通常はダウンロードフォルダへ入ります）



エクセルにダウンロードした後にファイルを開くと、画像③のような「遅いブックですか/パフォーマンスの確認」というようなメッセージがメニューバー部分に出てきてしまいますが、とくに気にする必要はありませんので④×で消してしまって問題ありません。

住宅ローン計算機

AI質問ログ アドバイス質問ログ 住宅ローン(月)_premium 住宅ローン(年)_premium

①

借入金額	4,000万円
ローン期間	35年
金利	1.50%
月々	4,000万円
ボーナス	0万円

②

回数	ローン残高	金利	繰上返済額	返済額	計返済額	うち利息	うち元金	ボーナス返済	ボーナス繰上	ボーナス計返済額	ボーナスうち元金
1	¥40,000,000	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥38,699	¥83,775	0	0	0
2	¥39,957,546	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥38,594	¥83,880	0	0	0
3	¥39,915,092	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥38,489	¥83,985	0	0	0
4	¥39,872,638	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥38,384	¥84,090	0	0	0
5	¥39,830,184	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥38,279	¥84,195	0	0	0
6	¥39,787,730	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥38,174	¥84,300	0	0	0
7	¥39,745,276	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥38,069	¥84,405	0	0	0
8	¥39,702,822	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,964	¥84,510	0	0	0
9	¥39,660,368	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,859	¥84,615	0	0	0
10	¥39,617,914	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,754	¥84,720	0	0	0
11	¥39,575,460	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,649	¥84,825	0	0	0
12	¥39,533,006	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,544	¥84,930	0	0	0
13	¥39,490,552	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,439	¥85,035	0	0	0
14	¥39,448,098	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,334	¥85,140	0	0	0
15	¥39,405,644	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,229	¥85,245	0	0	0
16	¥39,363,190	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,124	¥85,350	0	0	0
17	¥39,320,736	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥37,019	¥85,455	0	0	0
18	¥39,278,282	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥36,914	¥85,560	0	0	0
19	¥39,235,828	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥36,809	¥85,665	0	0	0
20	¥39,193,374	1.5%	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥122,474	¥36,704	¥85,770	0	0	0

③

比較表	総返済額 (月々+ボーナス合計)	総支払利息 (月々+ボーナス合計)
住宅ローン予定①	¥51,438,986	¥11,438,986
住宅ローン予定②	¥25,719,493	¥5,719,493
住宅ローン予定③	0	0
住宅ローン予定④	0	0

④

回数	ローン残高	金利	繰上返済額	返済額	計返済額	うち利息	うち元金
117	¥30,959,047	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥38,699	¥83,775
118	¥30,875,272	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥38,594	¥83,880
119	¥30,791,393	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥38,489	¥83,985
120	¥30,707,408	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥38,384	¥84,090
121	¥30,623,319	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥51,039	¥78,759
122	¥30,539,266	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥50,908	¥78,891
123	¥30,455,166	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥50,776	¥79,022
124	¥30,386,644	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥50,644	¥79,154
125	¥30,307,49	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥50,512	¥79,286
126	¥30,228,20	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥50,380	¥79,418
127	¥30,148,78	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥50,248	¥79,550
128	¥30,069,23	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥50,115	¥79,683
129	¥29,989,55	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥49,983	¥79,816
130	¥29,909,74	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥49,850	¥79,949
131	¥29,829,79	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥49,716	¥80,082
132	¥29,749,70	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥49,583	¥80,215
133	¥29,669,49	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥49,449	¥80,349
134	¥29,589,14	2.0%	0	¥129,798	¥129,798	¥49,315	¥80,483

⑤

回数	ローン残高	金利	繰上返済額	返済額	計返済額	うち利息	うち元金
173	¥26,102,693	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥32,628	¥89,845
174	¥26,012,848	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥32,516	¥89,958
175	¥25,922,890	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥32,404	¥90,070
176	¥25,832,820	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥32,291	¥90,183
177	¥25,742,637	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥32,178	¥90,295
178	¥25,652,342	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥32,065	¥90,408
179	¥25,561,933	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥31,952	¥90,521
180	¥25,471,412	1.5%	¥10,000,000	¥122,474	¥10,122,474	¥31,839	¥10,090,635
181	¥15,380,777	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥19,226	¥103,248
182	¥15,277,530	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥19,097	¥103,377
183	¥15,174,153	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥18,968	¥103,506
184	¥15,070,647	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥18,838	¥103,635
185	¥14,967,011	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥18,709	¥103,765
186	¥14,863,246	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥18,579	¥103,895
187	¥14,759,351	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥18,449	¥104,025
188	¥14,655,327	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥18,319	¥104,155
189	¥14,551,273	1.5%	0	¥122,474	¥122,474	¥18,189	¥104,285

プレミアムプラン（有料版）をご利用の方が、最初にAIライフナビをコピーして使用を開始すると、【住宅ローン(月)_premium】と【住宅ローン(年)_premium】というシートが追加されます。このシートはプレミアムプラン限定の機能です。

住宅ローンを4つ比較してみることが出来ます。CF表とは連動していないので、単純に計算器として使用してください。

初期設定では、【情報】のシートに入力したローン情報がそのまま反映されています。

①4～8行目の条件を変更すると、②の償還表（返済予定表）に反映され、さらに③の比較表にも反映されるため、総返済額や利息の総支払額を確認することが出来ます。50年ローン（600か月）まで設定することが可能です。①の「月々」は月の支払額ではなく、住宅ローンのうちいくらを月々払いに充ててるのか（差額があれば自動的にボーナス払いが入ります）を入力する欄になります。

変動金利を反映させたい場合などは、変更させたいタイミングで金利を打ちかえると、それ以降はすべて打ちかえた数字の金利に変更されます。

左記の例だと、121か月目（11年目）以降は2.0%に金利が変更した場合です。④の金利を打ちかえればそれより後の⑤はすべて自動で変更されます。⑥で返済額がそれまでよりも上がっていることが確認できます。

⑦「繰上返済額」欄に、繰上を実行したいタイミングで金額を入力すると、繰上の効果によりどれくらい返済額が変わるかなどを見ることが出来ます。

住宅ローン計算機には、細かく月単位で確認できる【住宅ローン計算機(月)】とまとめて年単位で確認できる【住宅ローン計算機(年)】が準備されています。

借入金額・ローン期間・金利差・繰上返済の効果等、様々な条件を変更し住宅ローンを比較検討することが可能となり、銀行選びや返済計画の検討時に役に立ちます。

【8】 AI機能

- ・定型質問について
- ・フリー質問
- ・FPアドバイス
- ・AIログの確認

AI定型質問について

The screenshot shows the 'AIに聞いてみる' (Ask AI) interface. It includes a header with 'AIライフナビ' and a link 'フリー質問AIはこちら'. The main area has several steps: 1. Selecting the 'AI' tab in the bottom navigation bar. 2. Choosing a category (e.g., '自動車'). 3. Selecting a question (e.g., '自動車税の目安を教えてください'). 4. Selecting options for the question (e.g., '500超~1000kg以...'). 5. Confirming the question in the input field. 6. Clicking the 'AIに聞いてみる' button. 7. Viewing the 'AIからの回答' (AI Answer) which lists car tax rates by engine displacement. 8. Clicking the '入力内容をリセットする' (Reset input) button.

- 1,000cc以下:	25,000円/年
- 1,001cc~1,500cc:	30,500円/年
- 1,501cc~2,000cc:	36,000円/年
- 2,001cc~2,500cc:	43,500円/年
- 2,501cc~3,000cc:	50,000円/年
- 3,001cc~3,500cc:	57,000円/年
- 3,501cc~4,000cc:	65,500円/年
- 4,001cc~4,500cc:	75,500円/年
- 4,501cc~6,000cc:	87,000円/年
- 6,001cc以上:	110,000円/年

AI質問を使うにはまず①【AI】シートを選択します。

そして質問したい内容の②カテゴリを選びます。数秒待つと質問を選ぶの内容が選択可能になるので③「質問を選ぶ」から質問したい内容を選びます。

質問文の中に追加の表記があった場合はまた数秒待ち④の中での選択肢から数値や文字を選びます。（選択が不要な場合もあります。）

⑤の質問内容が聞きたい内容であるか確認の上⑥「AIに聞いてみる」のボタンをクリックします。

「実行中です」という表記が出た後に⑦に「AIからの回答」が表示されます。

別の質問をする際に内容をリセットしたい場合は⑧「入力内容をリセットする」というボタンをクリックすると、すべての入力内容が白紙に戻ります。（リセットボタンをクリックしないでそのまま次の質問をしてしまっても問題ありません）

※こちらのAIはFPがよく受ける質問に限定し、統計局のデータや手動で集めたデータを基に回答しておりますので一般的なAIに比べて間違いが非常に起きにくい設定となっております。

ただ、AIの特性上100%正解ではないことをご了承ください。

AI機能 フリー質問

AIに聞いてみる(フリー質問)

※注意事項
質問を書き込む際は、最後にエンターキーを押して質問を確定してください。四角の中が赤色の場合は質問が確定されていません。
四角の中が赤色の場合、AIを動作する際にエラー(エラー内容：パラメータ不足)が発生することがあります。

①

AIに聞いてみる AIに聞いてみる 入力内容をリセットする

AIからの回答

エラーが発生しました。
エラー内容：パラメータ不足です ②

本機能はプレミアム専用です。
ユーザー認証失敗エラーの際は、使用中のGoogleアカウントにお間違いないかご確認ください。
その他のエラーは再考お試しください。
エラーが繰り返し続く場合は、お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

OK

AIに聞いてみる(フリー質問)

※注意事項
質問を書き込む際は、最後にエンターキーを押して質問を確定してください。四角の中が赤色の場合は質問が確定されていません。
四角の中が赤色の場合、AIを動作する際にエラー(エラー内容：パラメータ不足)が発生することがあります。

2010年に住宅を購入した場合の住宅ローン控除の条件はどんな内容でしたか

AIに聞いてみる 入力内容をリセットする

AIからの回答

2010年に住宅を購入した場合の住宅ローン控除の主な条件は以下の通りです：

1. **住宅の取得**：新築または中古住宅の取得が対象。
2. **住宅ローンの契約**：住宅ローンの契約が必要で、借入金の合計が一定額以上であること。
3. **居住要件**：取得した住宅に居住することが必要。
4. **控除期間**：住宅ローン控除の適用期間は原則10年間。
5. **所得制限**：所得税の課税所得が一定額以下であること。
6. **適用回数**：住宅ローン控除の適用は、一人につき1回まで。

具体的な条件や詳細は年度や状況によって異なる場合があるため、最新の情報は税務署や専門家に確認することをお勧めします。

定形で準備されている質問以外のことを自由にAIに質問したい場合には、【AI】シートの45行目以下にある【AIに聞いてみる（フリー質問）】を利用します。

①にAIに聞きたいことを入力し、必ずEnterキーを押して確定させてから「AIに聞いてみる」ボタンを押すと「AIからの回答」に回答が入ります。（FPIに関係のない内容を質問した場合には、答えない場合があります。）

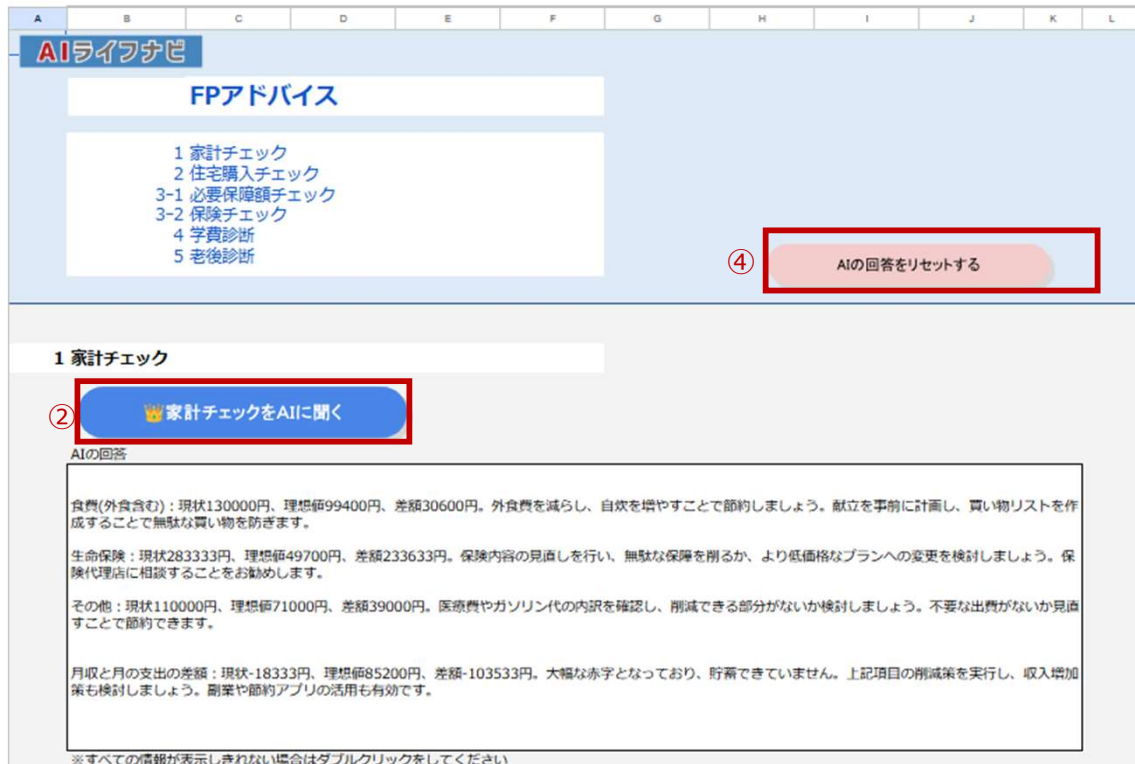
①セルが赤い色のままの場合は、質問が確定していません。質問を確定していない状態で「AIに聞いてみる」をクリックすると、②「パラメータ不足です」というエラーが発生してしまいます。このエラーが出たらEnterを押して質問を確定させてから再度「AIに聞いてみる」を実行してください。（確定させると赤いセルが白に変わります）

※こちらのAIはchatGPT4oを使用しております。
ChatGPT の回答は必ずしも正しいとは限りません。
不正確な情報を表示することがあるため、生成された回答を再確認するようにしてください。

FPアドバイス



FPからのアドバイスを使うには①【アドバイス】のシートを開きます。



画面の②青いボタン「家計チェック」「住宅ローンチェック」「必要保障額チェック」「教育費チェック」「老後チェック」を押すと数十秒の間にAIが完成したCF表をチェックしてアドバイスを生成します。

このアドバイスは過去2万件のCF表を学習したAIがまるで熟練のFPのようにアドバイスをを行います。またこのAIは常に成長をしておりますのでアドバイスの内容はその時の最新の情報や社会情勢に応じたアドバイスに更新されていきます。



最後に③回答済みのアドバイスをまとめるというオレンジのボタンを押すとアドバイスをまとめることも可能です。内容をリセットしたい場合は④AIの回答をリセットするを押すと全ての内容がリセットされます。

※AIの回答は必ずしも正しいとは限りません。お客様に提示する際には必ずご自身で確認してからご提示してください

AIログの確認

AIライブナビ
FPアドバイス

- 1 家計チェック
- 2 住宅購入チェック
- 3-1 必要保障額チェック
- 3-2 保険チェック
- 4 学費診断
- 5 老後診断

AIの回答をリセットする

1 家計チェック

🏠 家計チェックをAIに聞く

AIの回答

食費(外食含む): 現状130000円、理想価99400円、差額30600円。外食費を減らし、自炊を増やすことで節約しましょう。献立を事前に計画し、買い物リストを作成することで無駄な買い物を防ぎます。

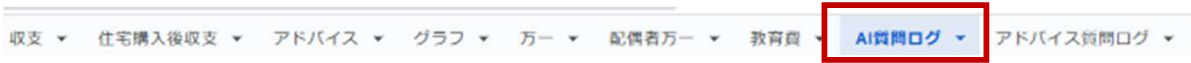
生命保険: 現状283333円、理想価49700円、差額233633円。保険内容の見直しを行い、無駄な保障を削るか、より低価格なプランへの変更を検討しましょう。保険代理店に相談することをお勧めします。

その他: 現状110000円、理想価71000円、差額39000円。医療費やガソリン代の内訳を確認し、削減できる部分がないか検討しましょう。不要な出費がないか見直すことで節約できます。

月収と月の支出の差額: 現状-18333円、理想価85200円、差額-103533円。大幅な赤字となっており、貯蓄できていません。上記項目の削減策を実行し、収入増加策も検討しましょう。副業や節約アプリの活用も有効です。

※すべての情報が表示しきれない場合はダブルクリックをしてください

【AI】や【アドバイス】のシートでAIの回答があった場合、別の質問や前提を変更してチェックをした場合に、前の回答が消えてしまいます。この状態だと先に回答をもらったものの回答が何だったかわからなくなってしまうため、ログを確認できるシートを準備しています。



それぞれのシートを開くと、「質問日時」や「質問内容」「AIの回答」等が一覧になって表示されているので、過去にこのスプレッドシートでAIに確認した内容はすべてここで確認することが出来ます。

	A	B	C	D
1	質問日時	質問項目	質問内容	AIの回答
2	2024/11/01 13:40:46	基本情報	業務が運輸、郵便の場合、収入のピークは何歳でいくらかいになっているか	業務が運輸業、郵便業の場合、収入のピークは40~54歳で、年収は約337.6万円です。提供された情報には地方公務員の運輸や郵便に関する具体的なデータが含まれていません。そのため、年収のピークや月収についての正確な回答をすることはできません。一般的に、地方公務員の給与は職種や学歴、年俸によって異なるため、具体的な情報が必要です。可能であれば、運輸や郵便に関する詳細なデータを提供していただければ、より正確な回答ができるかと思います。
3	2024/11/01 13:42:12	基本情報	地方公務員で運輸、郵便の場合、年収のピークは何歳でいくらかいの月収と年収になるのか	地方公務員の運輸、郵便に関する具体的なデータは提供されていません。正確な月収や年収のピークをお答えすることはできません。ただし、一般的には公務員の年収ピークは60歳前後であることが多く、その際の月収は高卒や大卒によって異なるため、関連する職種や学歴に基づいて推測する必要があります。具体的な数値については、関連する職種のデータを参考にご覧いただけます。
4	2024/11/01 13:42:32	基本情報	地方公務員で運輸、郵便の場合、年収のピークは何歳でいくらかいの月収と年収になるのか	地方公務員全職種の場合、年収のピークは60~63歳で、月収は472,432円です。年収に換算すると、約5,688,000円になります。過去20年間の日本株の平均利回りを計算するために、2003年から2022年までの各年の利回りを合計し、それを20で割ります。
5	2024/11/01 13:42:48	基本情報	地方公務員で全職種の場合、年収のピークは何歳でいくらかいの月収と年収になるのか	計算式: $\frac{\sum_{i=1}^{20} (24.5 + 7.6 + 40.2 + 6.9 - 11.1 - 42.1 + 19.0 - 3.0 - 17.3 + 22.9 + 56.7 + 7.1 + 9.1 + 0.4 + 19.1 - 12.1 + 18.2 + 16.0 + 4.9 - 9.4)}{20}$ 結果: $\frac{\sum_{i=1}^{20} (157.6)}{20} = 7.88\%$
6	2024/11/01 13:54:32	基本情報	日本株の過去20年間の平均利回りは(計算式と結果)	したがって、過去20年間の日本株の平均利回りは約7.88%です。積立運用のシミュレーションを行う際には、いくつかの要素を考慮する必要があります。まず、毎月の積立額は10万円、運用期間は2002年1月から2024年12月までの23年間で、この期間における投資の成長率や市場の動向も重要です。
7	2024/11/01 13:56:25	基本情報	世界株の商品を2002年1月から2024年12月までの毎月10万円、積立運用をしていたら、およそいくらかい	仮に年平均利回りを5%とした場合、積立額と運用期間から計算すると、未来の資産額は以下ようになります。 - 月積立額: 10万円 - 積立期間: 23年 (276ヶ月) - 年平均利回り: 5% この条件で計算を行うと、最終的な資産額は約4,200万円程度になる可能性があります。ただし、実際の市場の動きや利回りは変動するため、結果は異なる場合があります。具体的なシミュレーションには、過去のデータや市場の動向を考慮することをお勧めします。

【9】CF表の印刷方法（スプレッドシート）

CF表の印刷方法（スプレッドシート）

CF表を印刷してお客様に提出する場合、スプレッドシートを印刷すると、ダウンロードしたExcelを印刷するのでは印刷の方法が違います。横に長いCF表を見やすい状態で印刷するにはいくつか設定が必要になりますので、ここでご案内します。



まず、印刷した際にどのページにも年齢や項目が印刷されるように、ウィンドウ枠を固定します。①選択したセルの右側と下側で固定することが出来るので、固定したい位置のセルを選択します。

②「表示」→③「固定」→④固定したい行を選択します。行を選択すると一度選択項目が消えてしまうので、列の固定のために再度②「表示」→③「固定」を選び今度は⑤固定したい列を選択します。

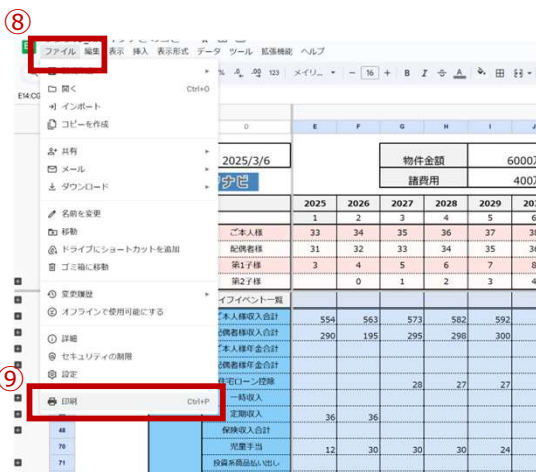
作成日	2025/3/6					物件金額	6000万円	
AIライフナビ							諸費用	400万円
西暦		2025	2026	2027	2028	2029	2030	
経過年数		1	2	3	4	5	6	
年齢	ご本人様	33	34	35	36	37	38	
	配偶者様	31	32	33	34	35	36	
	第1子様	3	4	5	6	7	8	
	第2子様	0	1	2	3	4		
ライフイベント	ライフイベント一覧							
収入	ご本人様収入合計	554	563	573	582	592	601	
	配偶者様収入合計	290	195	295	298	300	303	
	ご本人様年金合計							
	配偶者様年金合計							
	住宅ローン控除			28	27	27	27	
	一時収入							
	定期収入		36	36				
保険収入合計								
児童手当		12	30	30	30	24	24	

この作業により左図のように年齢と項目のところで固定がされ、スクロールしてもこの固定した部分は動かず常に表示される状態になります。印刷する場合にも、この固定された部分を2枚目以降にも載せることが出来るようになります。この作業をしないで印刷すると、2枚目以降に項目のタイトルが出てこないの、何の数字なのかかわからず、とても見にくくなってしまいます。



印刷をする前に、どの部分を見せた状態にして印刷を行うのかを検討してください。各項目の詳細まで見せた状態で印刷をしたい場合には、⑥プラスボタンを押してその項目の詳細を表示してください。逆に何も情報が入ってなくて見せなくてもいいもの等は、該当の行を選択して⑦非表示にしておくと、余計なものを省けるので、印刷がすっきり仕上がります。

ウィンドウ枠を固定した部分を除いて印刷したい部分を、ドラッグ操作で（左クリックしたまま動かす）範囲選択します。このとき一画面ではすべて表示しきれない状態がほとんどですので、一番最後の★星印側から逆に選択していくとやり易いです。



印刷範囲を選択した状態で⑧「ファイル」をクリックし⑨「印刷」を選択します。

印刷設定 合計: 3 ページ

10 選択中のセル (E14:CG209)

11 用紙サイズ A4 (21.0cm x 29.7cm)

12 ページの向き 横向き 縦向き

13 スケール 高さに合わせる

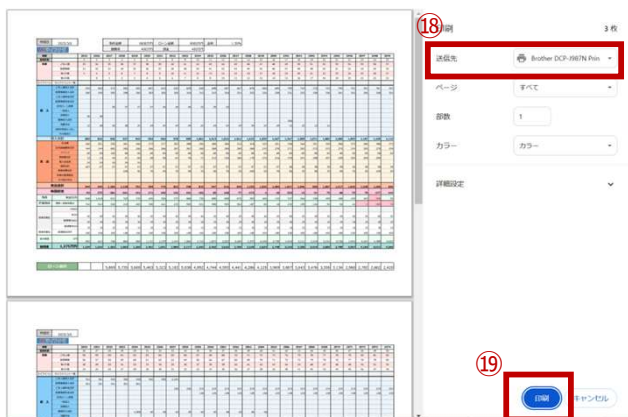
14 余白 狭い

15 ヘッダーとフッター

16 固定行を繰り返す 固定列を繰り返す

17 次へ

印刷設定の画面に切り替わるので、⑩【印刷】は「選択中のセル」を選択します。⑪【用紙サイズ】は任意のサイズを選択します。⑫【ページの向き】は「横向き」を選択します。⑬【スケール】は「高さに合わせる」⑭【余白】は任意のものを選択します。⑮【ヘッダーとフッター】をクリックすると新しい選択肢が出てくるので、⑯「固定行を繰り返す」「固定列を繰り返す」のどちらにもチェックを入れてください。すべて設定出来たら⑰「次へ」をクリックします。



印刷のウィンドウが別途立ち上がるので、プレビューで問題なくイメージ通りの印刷になるか、確認してください。

⑱【送信先】で任意のプリンターを選択し、⑲「印刷」をクリックしてください。